

このたびは、モンパルをお買いあげいただき、ありがとうございます。

お買いあげいただきました商品や、サービスに関してお気づきの点、ご意見などがございましたら、お買いあげいただいた販売店にお気軽にお申しつけください。

モンパル ML200は、国家公安委員会の型式認定番号を取得した「電動車いす」であり、歩行者と同様の扱いになります。運転免許は必要ありませんが、交通ルール、マナーを守り、安全な走行を心がけてください。

取扱説明書について

この取扱説明書は

- ・モンパルを運転するときは、必ず携帯してください。
- ・モンパルを貸したり、ゆずられる場合は、モンパルといっしょにお渡しください。
- ・なくしたり、汚れて読めなくなったときは、お買いあげいただいた販売店にご注文ください。

リサイクルにご協力を

モンパルのバッテリーには、制御弁式鉛電池を使用しています。ご使用済みの制御弁式鉛電池は、貴重な資源として再利用が可能です。不要になったバッテリーは、お買いあげの販売店へお渡しください。



Pb

リサイクルマークについて

矢印を基調にしたマークは、地球の環境保全を考え、制御弁式鉛電池をリサイクルしましょうという願いを込めたものです。

はじめに

この取扱説明書は、お買いあげいただいたモンパルを安全に正しく操作する手助けとして編集されたものです。**モンパルの正しい取り扱い方法や簡単な点検およびお手入れの方法**について説明しています。

モンパルを運転する前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、モンパルの操作に習熟してください。

安全に関する表示について

本書では、運転者や他の人が傷害を負ったりする可能性のある事柄を下記の表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。これらは安全上特に重要な項目です。必ずお読みいただき指示に従ってください。

危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

取扱いのポイント

指示に従わないと、本機やその他の物が損傷する可能性があるもの

- この取扱説明書の中で、“**×**” マークのついたイラストは「その行為の禁止」を示しています。
- なお、この取扱説明書は、仕様変更などによりイラストや内容が一部実車と異なる場合があります。

目次

第1部 こんなことに気をつけましょう！	5
安全ラベル	6
安全にお使いいただくためにこれだけはぜひ守りましょう	8
第2部 お乗りいただくために	21
各部の名称と取り扱いをおぼえましょう	22
電源スイッチ	24
前進・後進スイッチ	25
速度設定ノブ	25
ハンドル／走行レバー	26
クラッチレバー（手押し切り換えレバー）	27
バッテリー残量計・警報表示灯	27
ホーン（警音器）スイッチ	28
方向指示スイッチ／方向指示表示灯	28
手動ブレーキレバー	29
ブレーキロックレバー（駐車ブレーキ）	29
コンビニフック	30
取扱説明書	30
フロントバスケット／バスケットネット	31
回転シートレバー	32
ひじかけ	32
シート取付け位置の調整	33
走行するまえの点検（日常点検）	34
乗車するまえに	34
シートにすわって	35
すこし走ってみて	35
バッテリー残量の点検	36
タイヤの点検	37
走行するにあたって	38
乗車するまえに確認してください	38
乗車して確認してください	38
発進するときは	39
停止するときは	42
降車するときは	43
警報機能	44
通常の操作・運転にともなう警報	44
● 後進時の警報	44
● 方向指示スイッチ作動時の警報	44

電源スイッチの切り忘れ警報	45
まちがった操作・運転にともなう警報	46
● 誤発進防止警報	46
● 走行中前進・後進切り換え時停止機能	46
● 充電中走行防止警報	47
● 握り込み停止機能	47
● ブレーキロック停止機能	47
● 旋回時減速機能	47
走行停止につながる重大な警報	48
● バッテリー残量警報	48
故障につながる重大な警報	49
● 過負荷警報	49
● モーターロック保護警報	50
● バッテリー過電圧保護警報	50
手押し移動するときは	51
緊急事態の回避方法	52
走行練習のしかた	54
充電のしかた	57

第3部 お手入れについて 63

定期手入れを行いましょう	64
定期点検	64
定期点検整備の記録	68
清掃のしかた	72
長期間使用しないときの手入れ	73
故障のときは	74
故障診断機能	76
運搬のしかた	78

第4部 データ 79

主要諸元	80
保証の概要	83
同梱部品の取付けかた	84
索引	85

第 1 部

こんなことに気をつけましょう！

安全ラベル.....	6
安全にお使いいただくために これだけはぜひ守りましょう	8



安全ラベル

モンパルを安全に使用していただくため、モンパルには安全ラベルが貼っています。**安全ラベルをすべて読んでからご使用ください。**

安全ラベルは、ハッキリと見えるように、きれいにしておいてください。

モンパルに貼ってあるラベルが汚れ、破れ、紛失などで読めなくなってしまったときは、新しいラベルに貼り替えてください。また、安全ラベルが貼られている部品を交換する場合は、ラベルも新しいものを貼ってください。

安全ラベルはお買いあげ販売店にご注文ください。

注 意



事故防止のため、下記および取扱説明書を読み、理解して正しく使用して下さい。

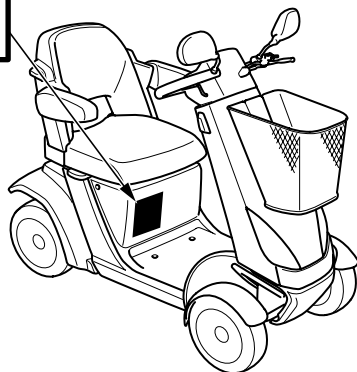
この製品（電動車イス）は歩行者扱いとなります。
交通ルールを守って走行して下さい。

■ 運転時の転倒・転落防止のため、

- 乗り降りは平坦な場所で行って下さい。
- 急な坂道の走行や、急な傾斜地での斜め走行はしないで下さい。
- 下り坂では、速度設定ノブを“2”の位置で走行して下さい。
- 蛇行運転、急旋回はしないで下さい。
- 9 cm以上の段差や、幅12 cm以上の溝のあるところは走行しないで下さい。
- 下り坂を後進で走行しないで下さい。
- 気分がすぐれない時や、飲酒時は運転しないで下さい。
- 側溝や穴の近く及び、路肩付近は走行しないで下さい。
- 雪道・ぬかるみなど悪い路面は走行しないで下さい。
- 積載重量は運転者、バスケット内の荷物を含めて100 kg以下として下さい。

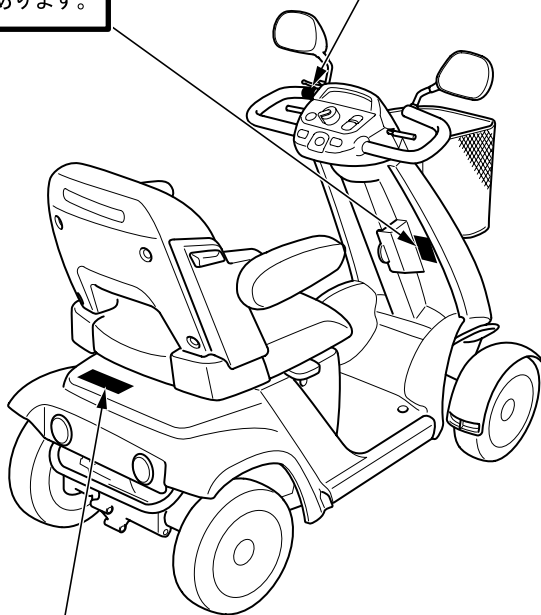
■ 駐車・点検時の暴走・巻き込まれ防止のため、

- 平坦な場所に駐車して下さい。
- 後部にあるクラッチレバーは、“自走”の位置にして下さい。



⚠ 警 告	
	感電のおそれがあるので濡れたプラグや濡れた手で充電しないで下さい。
	充電中のバッテリーに火気を近づけないで下さい。引火爆発のおそれがあります。

⚠ 注 意
走行時はブレーキロックを解除して下さい。

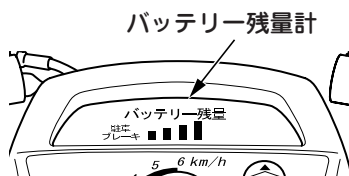
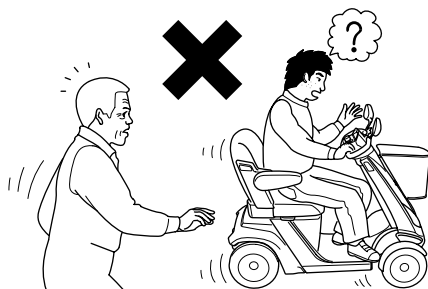


⚠ 警 告	
	クラッチレバーは手押しの必要のあるとき以外は常に“自走”の位置にして下さい。坂道でひとりでの動きだし、衝突・転倒のおそれがあります。

安全にお使いいただくために これだけはぜひ守りましょう

モンパルは快適な乗り物ですが、正しく取り扱わないと、事故を起こすおそれがあります。安全にご使用いただくために、以下のことを守ってください。

ご使用前の注意！



よく読んで正しい理解を！

- この取扱説明書を事前に読み、正しい取り扱い方法を十分にご理解のうえ運転してください。介助者がいる場合、介助者の方もこの取扱説明書をよく読みご理解ください。
- 間違いなく取り扱うために各部の操作になれ、すばやく停止する方法を習得してください。

（「走行するにあたって」38頁参照）

他の人に操作・運転させるときは十分な説明を！

- 適切な指示や説明なしでは誰にもモンパルを操作・運転させないでください。また、子どもには運転・操作させないでください。事故やモンパルの損傷が起こる原因となることがあります。

公道を走る前に練習を！

- 操作に慣れるまでは公道を走行しないでください。

（「走行練習のしかた」54頁参照）

運転を始める前に！

- 運転を始める前に必ずバッテリー残量を確認し、出発から帰着まで余裕があることを確認してください。

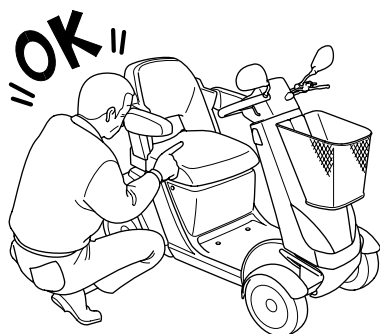
（「バッテリー残量の点検」36頁参照）

運転前の注意！



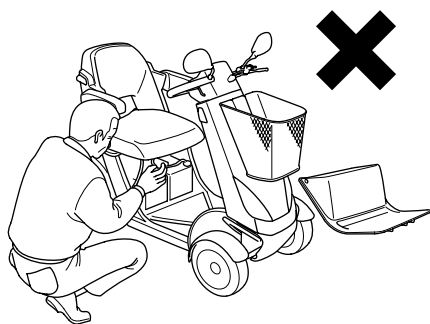
体の調子が悪いと思ったら！

- 疲れているとき、気分のすぐれないとき、飲酒や薬物を服用しているときにはモンパルを運転しないでください。判断が鈍り重大な事故を引き起こすことがあります。



日常点検を行きましょう！

- 日常点検、整備を必ず行いモンパルを常に良好な状態にしておいてください。不具合のある状態で操作すると、ケガをしたりモンパルが損傷を受ける原因となることがあります。



変造・改造は絶対にやめてください！

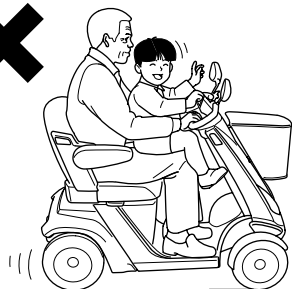
- カバーやラベル類、その他の部品を外して運転しないでください。
- 誤った部品を取り付けたり改造をしないでください。思わぬ事故の原因となることがあります。

正しい運転姿勢で！

- シートに深く腰かけ、背もたれから背中がはなれないようにしっかりすわってください。
- ステップに立ったり、横すわりの状態で運転すると、ケガをする原因となることがあります。

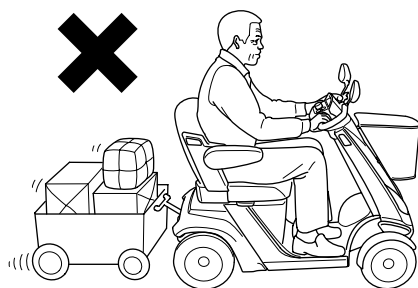


運転前の注意！



モンパルは遊具ではありません！

- モンパルの乗車定員は1名です。2人乗り（子供も含む）は絶対にしないでください。
- 遊具としての使用など車いす以外の用途に使用しないでください。思わぬ事故の原因となることがあります。



こんな使い方も危険です！

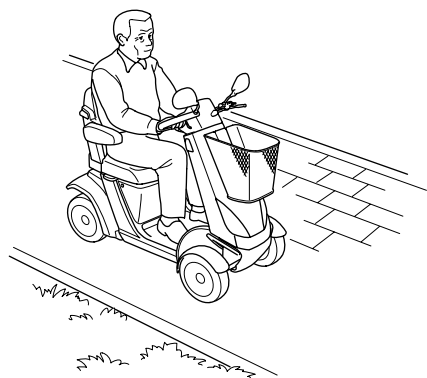
- 荷物のけん引のためにモンパルを使用しないでください。
- ハンドルにかさやつえなどをかけないでください。ハンドル操作の支障となります。
- 積載重量制限は運転者、バスケット内の荷物（3kg以内）などを含めて100kgまでです。



雪道・凍結路・氷点下は危険です！

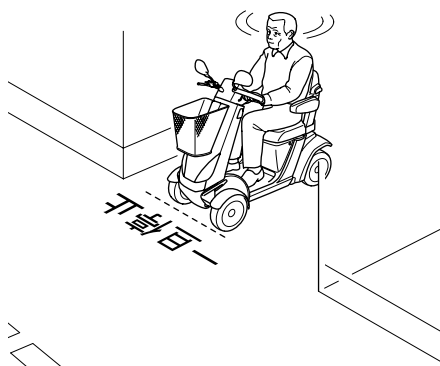
- モンパルを雪道や凍結路などで使用しないでください。車輪が滑り操縦できません。
- 氷点下(外気温0℃以下)では、使用しないでください。路面が凍結している場合があり、車輪が滑り操縦できなくなります。

運転中の注意！



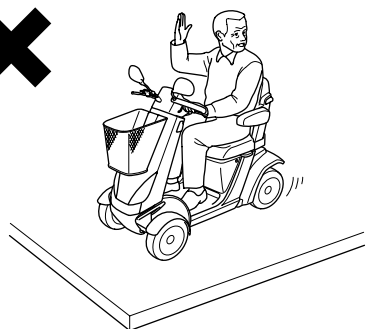
交通ルールを守って運転してください！

- モンパル ML200は、国家公安委員会の型式認定番号を取得した「電動車いす」であり、歩行者と同様の扱いになります。したがって運転免許は必要ありませんが、交通ルール、マナーを守り、周りの歩行者や自転車などにも十分注意して安全な走行を心がけてください。
- 歩道や歩行者用道路を走行し、横断歩道を渡ってください。歩道のない道路は、自動車や他の交通機関に十分注意して、右側通行してください。



交差点では必ず一旦停止！

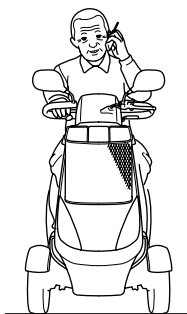
- 交差点では必ず一旦停止し、左右の安全を確認して、ゆっくり発進してください。



マナーを守りましょう！

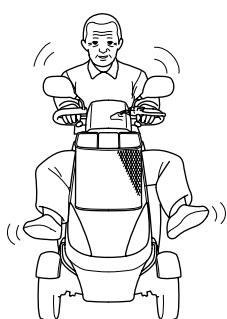
- 手放しや片手運転、およびわき見運転はしないでください。思わぬ事故の原因となることがあります。

運転中の注意！

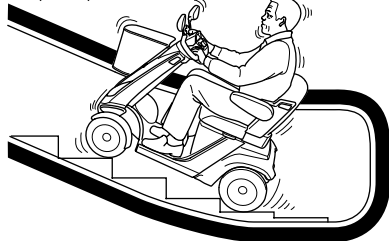


マナーを守りましょう！

- 走行中は携帯電話やトランシーバーを絶対に使用しないでください。片手運転になるだけでなく、モンパルの走行に影響を及ぼす場合があります。使用する場合は安全な所にモンパルを止め、モンパルの電源スイッチを“切”にしてください。



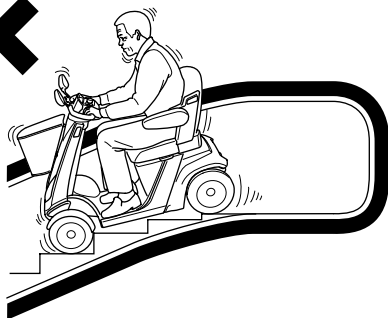
- 走行中に足や体を車体からはみ出ないようにしてください。車体と障害物の間に足や体をはさむと事故につながるおそれがあります。また、他の歩行者の迷惑となるおそれがあります。



エスカレーターは使用禁止です！

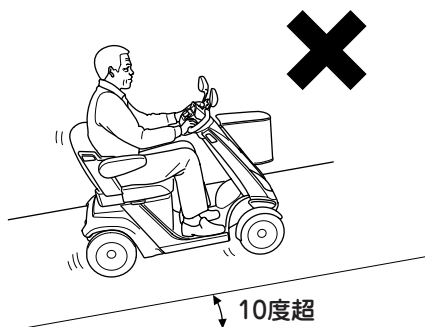
- エスカレーターを使用しないでください。転倒のおそれがあります。

（車いす用機能を持つエスカレーターの場合、エスカレーターの管理者に相談してください。）



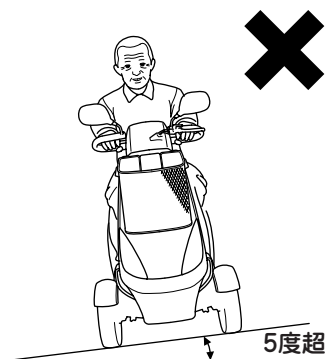
運転中の注意！

注意すべき走行場所！



ー坂道での走行ー

- 10度を超える坂道では、使用しないでください。転倒のおそれがあります。
- 10度以下の坂道でも走行は上り、下りとも十分注意してください。
- ◆ 坂道では、上り、下りとも前進でまっすぐに走行してください。
- ◆ 急ハンドルは避けてください。
- ◆ 下り坂では、速度設定ノブを“2”の位置にして走行してください。



ー傾斜地での走行ー

- 5度を超える傾斜地での斜め走行は行わないでください。転倒のおそれがあります。
- 5度以下の傾斜地でも走行は十分注意してください。
- ◆ 傾斜地ではハンドルが取られやすくなりますので、両手でしっかりハンドルを握って走行してください。

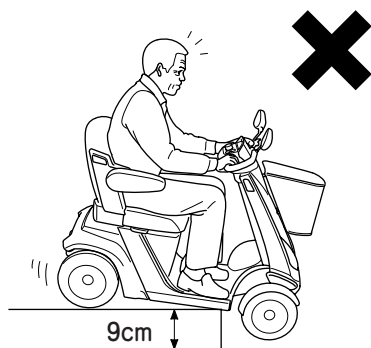


ー雪道・凍結路・氷点下での走行ー

- 雪道や凍結路では、走行しないでください。車輪が滑り操縦できません。
- 氷点下(外気温0℃以下)では、走行しないでください。路面が凍結している場合があります、車輪が滑り操縦できなくなります。

運転中の注意！

注意すべき走行場所！



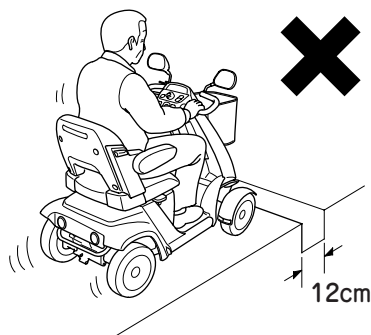
一段差や溝を乗り越えるときは－

- 大きな段差（9cm以上）や溝の乗り越えはしないでください。転倒するおそれがあります。

◆ 9cm未満の段差でも、両手でしっかりハンドルを握って、ゆっくりと段差に対して直角に乗り越えるように走行してください。

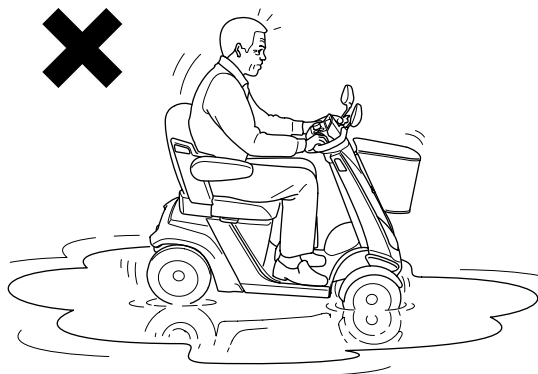
- 幅の広い溝（12cm以上）は乗り越えないでください。転倒したり、動けなくなるおそれがあります。

◆ 12cm未満の幅の溝でも、タイヤを溝にとられないよう、両手でしっかりハンドルを握って、ゆっくりと段差に対して直角に乗り越えるように走行してください。



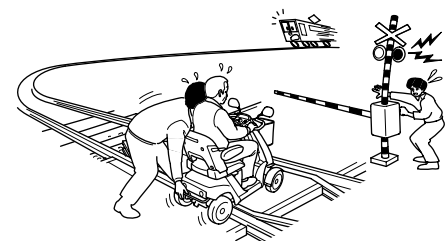
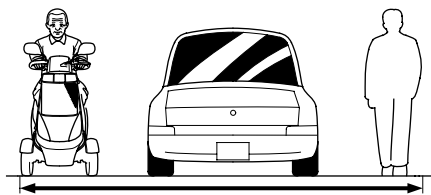
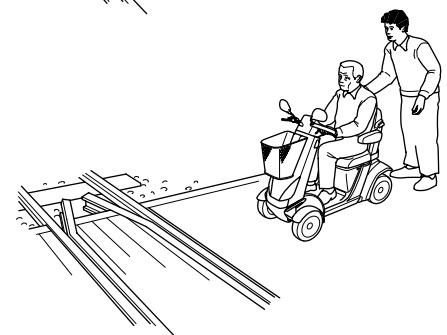
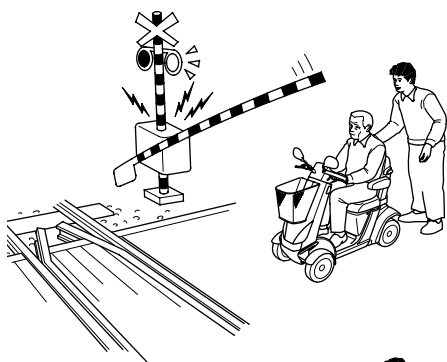
－悪路の走行－

- ぬかるみ・水たまり・凸凹道・砂地・砂利道などは走行しないでください。転倒したり、動けなくなるおそれがあります。



運転中の注意！

注意すべき走行場所！



ー踏切の横断ー

- 踏切を渡ることは状況により大変危険を伴います。事前に介助者と共に次のことを確かめておいて、介助者と一緒にお渡りください。

- 踏切を横断するときは、必ず、踏切の手前で一旦停止し、左右の安全を確かめてから横断してください。

線路に対して直角で進入し線路の溝にタイヤを取られないように十分注意してください。（踏切の端は走行しないようにしてください。線路のすきまが大きく、タイヤが落ち込みやすく、危険です。）介助者に同行してもらうようにしましょう。

- ◆ 警報が鳴り始めてから遮断機が降りるまでの時間に、余裕を持ってその踏切を渡り切れることを確認しておいてください。

- ◆ 踏切内で対向する車や人があっても、停止することなく容易に対向できる十分な幅があることを確認しておいてください。

- 線路内で動けなくなったときには、近くの人に協力していただき、手押し移動してください。（「手押し移動するときは」51頁参照）

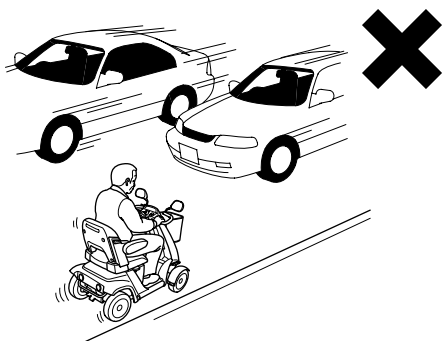
万一、踏切内から脱出できないような場合には、踏切の非常ボタンを押してください。

運転中の注意！

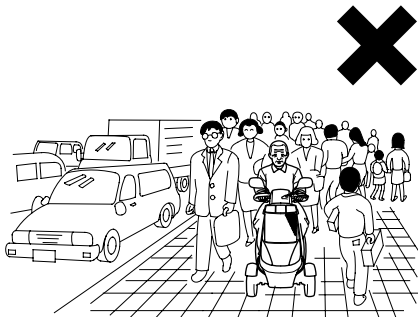
注意すべき走行場所！

- 次のような場所や状況下での走行は、回避するか、介助者に同行してもらってください。

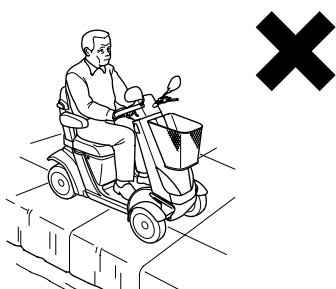
◆ 交通量の多い道路



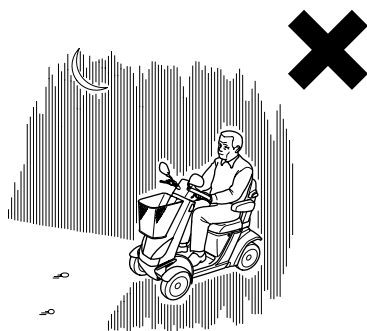
◆ 混雑している歩道



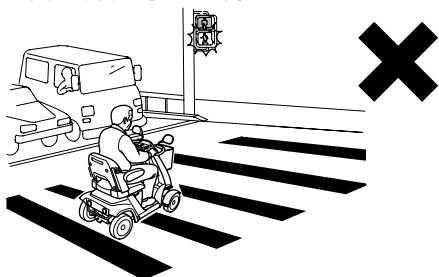
◆ 駅のホームの端、電車にのるとき、 防止柵のない側溝、路肩付近



◆ 夜間走行



◆ 長い横断歩道で青信号途中での渡りはじめ (次の青信号まで待ってください)

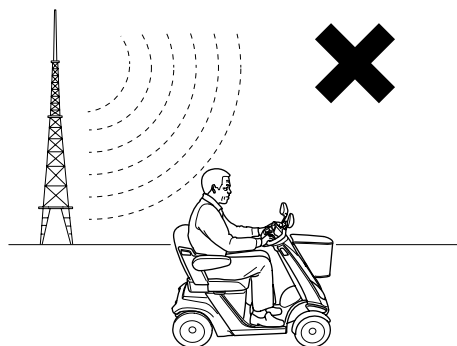


◆ 悪天候時の走行（雨天・濃霧・強風・降雪時など）



運転中の注意！

次の走行は避けてください！



こんなことにも注意してください！

- テレビ塔など強い電磁波が出ている所での走行は避けてください。

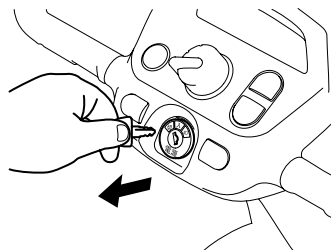
駐車・停車時の注意！

ブレーキロックをかける



平坦な場所に駐車・停車してください！

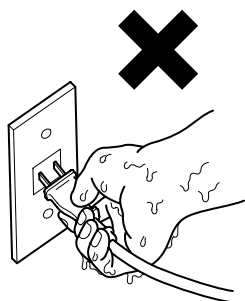
- 平坦な場所を選んで駐車・停車してください。
- ◆ 降車時には駐車ブレーキをかけてください。警報表示灯に“**駐車ブレーキ**”が点灯していることを確認してください。（電源スイッチを“切”にした状態で“**駐車ブレーキ**”は点灯しません。）
- 駐車ブレーキの解除は乗車後に行ってください。（29頁参照）



電源スイッチキーを抜く！

- モンパルからはなれるときは、他の人が運転できないように、必ず電源スイッチキーを抜いて保管してください。

充電時の注意！



引火・爆発に注意！

- 引火・爆発のおそれがありますので、充電中はバッテリーに火気を近づけないでください。

感電事故を防ぐために

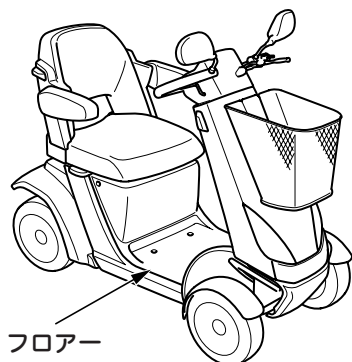
- 濡れた手でプラグを握らないでください。また濡れたプラグをコンセントに差し込まないでください。手とプラグの水分は拭き取り、よく乾かしてください。
- 損傷・変形のある充電コードやプラグを使用しないでください。感電・ショート（短絡）・発火の原因になります。
- 延長コードを使用するとき、屋外でプラグを接続する場合は、水や雨などがかからないように注意してください。
- 充電コードが濡れてしまった場合、水分をよく拭きとってからコードリールに収納してください。

台風・洪水などで水につかった場合の注意！

感電事故を防ぐために

- フロアーが水につかった場合、モンパルを使用しないでください。
お買いあげ販売店で点検が必要です。
電源スイッチを操作する前に、お買いあげ販売店にご相談ください。

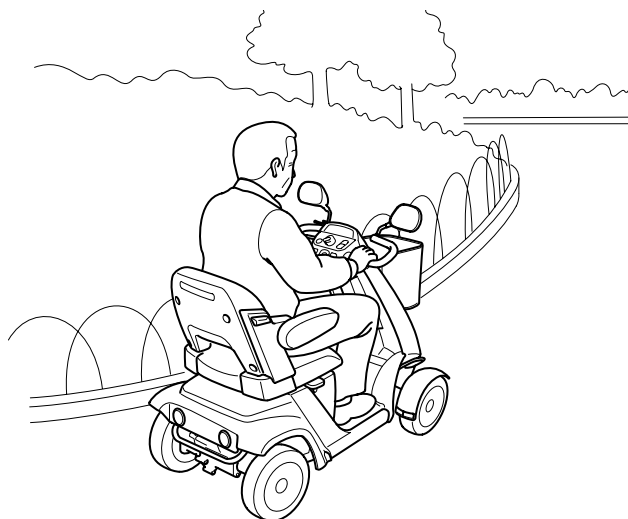
フロアーが水につかったら使用禁止



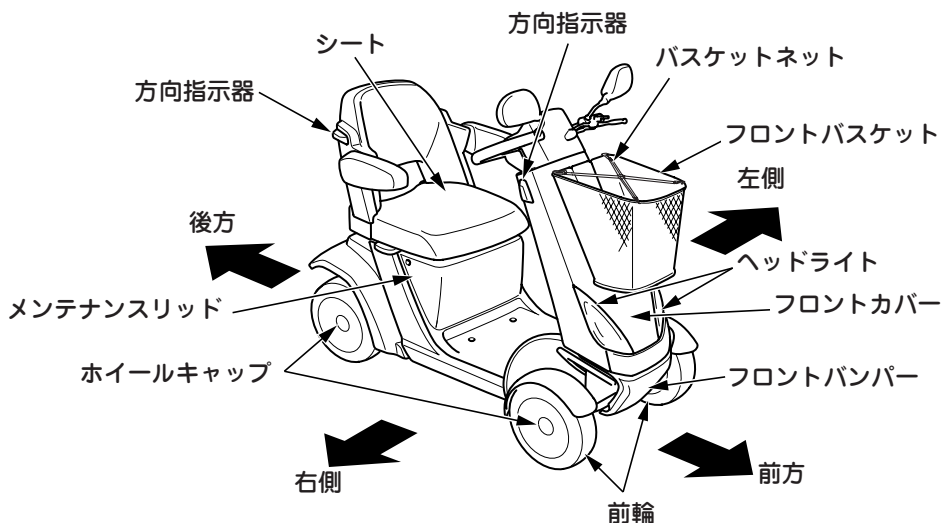
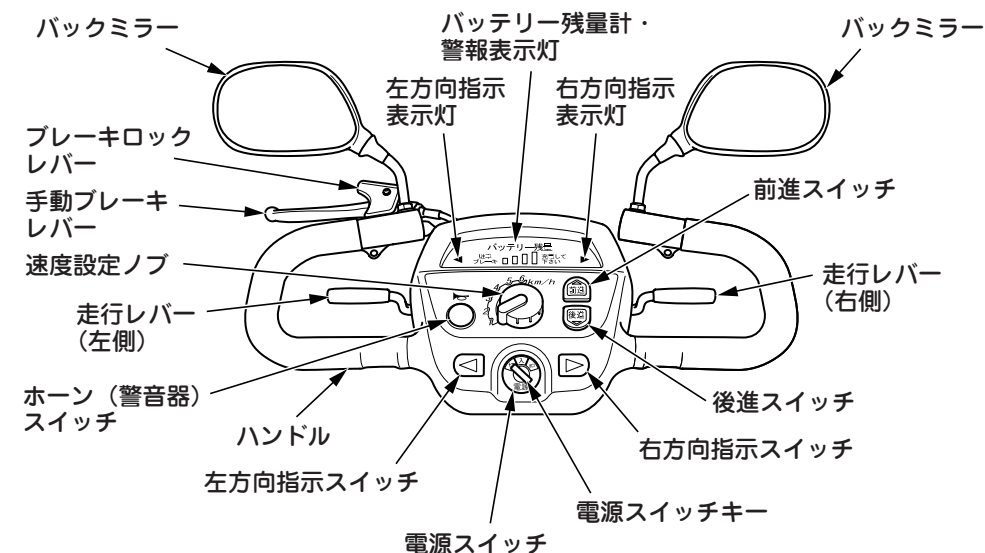
第 2 部

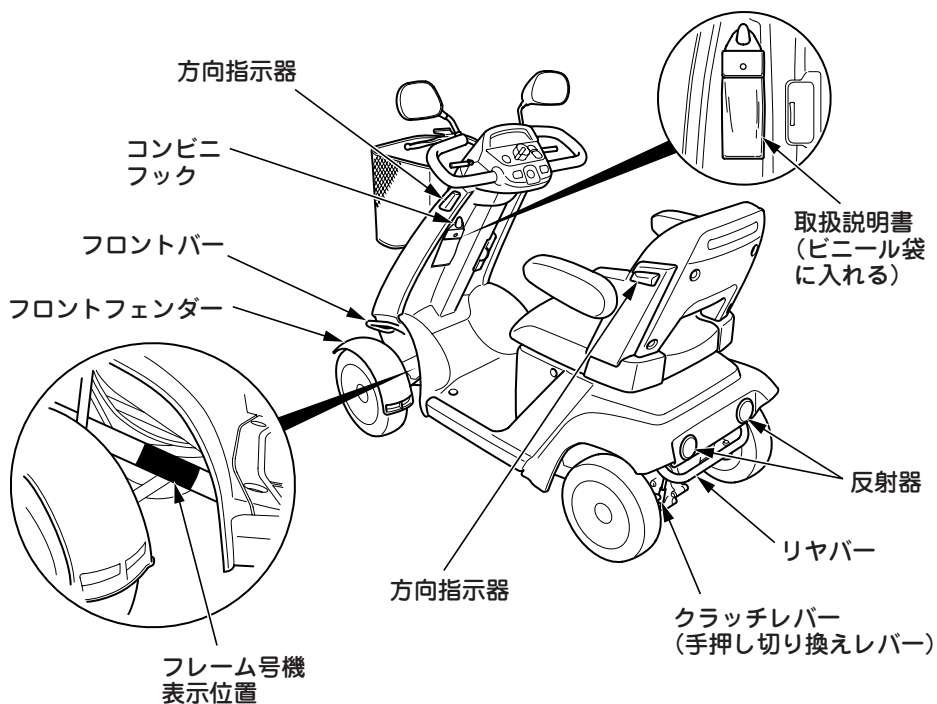
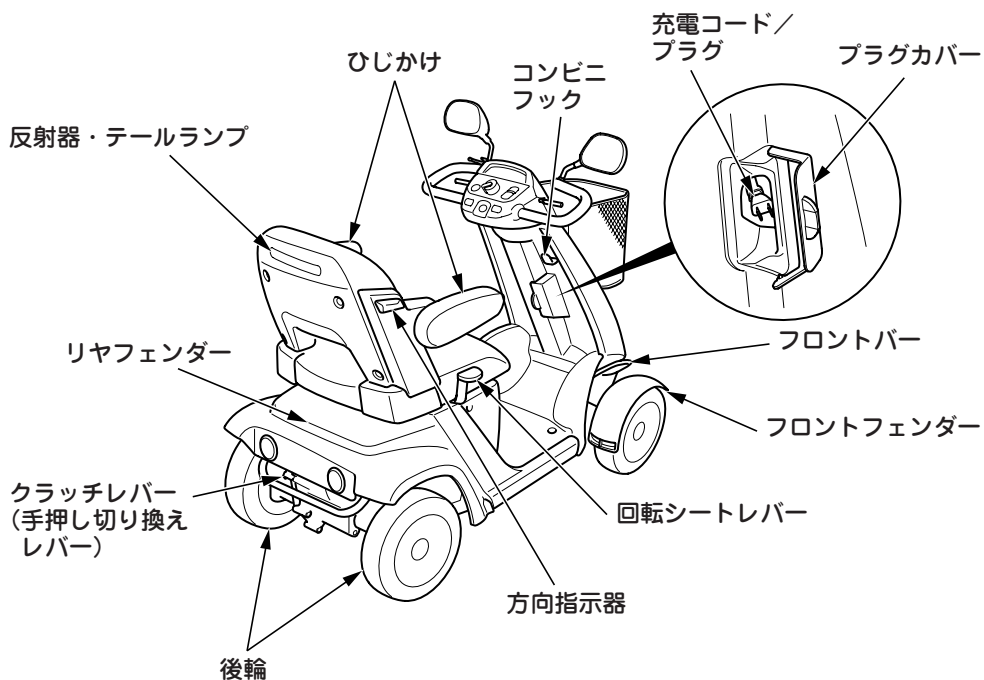
お乗りいただくために

各部の名称と取り扱いをおぼえましょう.....	22
走行するまえの点検（日常点検）.....	34
走行するにあたって.....	38
警報機能.....	44
緊急事態の回避方法.....	52



各部の名称と 取り扱いをおぼえましょう





電源スイッチ

電源を入れるとき、切るときに使用します。

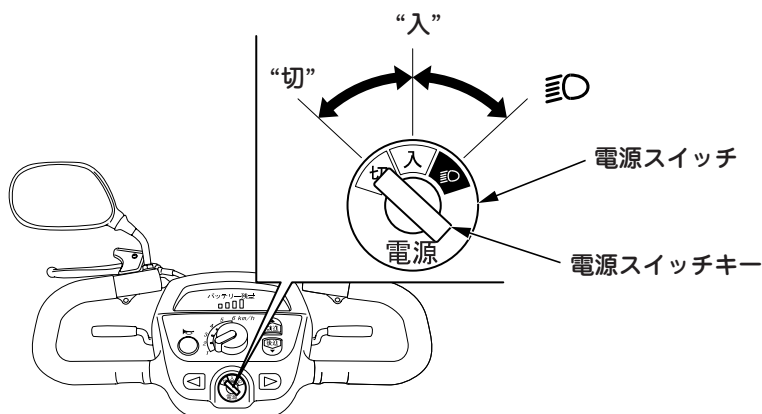
切：停止してキーを抜くとき、充電するとき、格納するときの位置です。

入：走行するときの位置です。

≡○：ヘッドライトを点灯しながら、走行するときの位置です。

部位 \ キーの位置	切	入	≡○
バッテリー残量計の表示	消灯	点灯	減光点灯
ヘッドライト	消灯	消灯	点灯
方向指示器	消灯	消灯	点灯
テールランプ	消灯	点滅	点滅

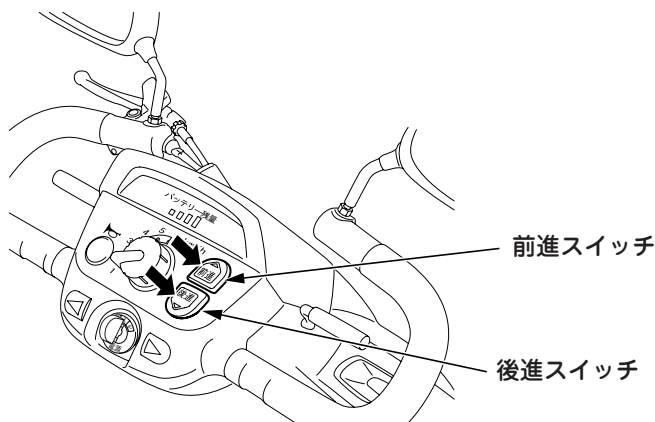
電源スイッチを“切”から“入”にすると、全ての表示灯が一度点灯し、消えます。



前進・後進スイッチ

前進するときは前進スイッチを押します。後進するときは後進スイッチを押します。スイッチを押すと進行方向のスイッチが点灯します。

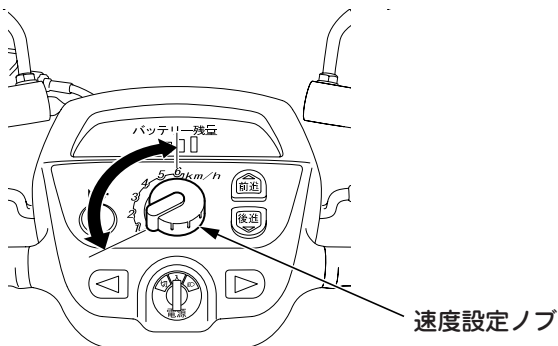
電源スイッチを“入”の位置にすると前進の状態になり、前進スイッチが点灯します。走行する前に進行方向を確認してください。



速度設定ノブ

走行速度の上限を設定します。自身と周囲の安全を十分に確保できる速度にしてください。

- 前進するときの走行速度は、1km/hから6km/hまでを無段階に設定することができます。
- 後進するときの走行速度は、1km/hから2km/hまでを無段階に設定することができます。後進は、ノブを2以上に動かしても最高速度は2km/hに制限されます。

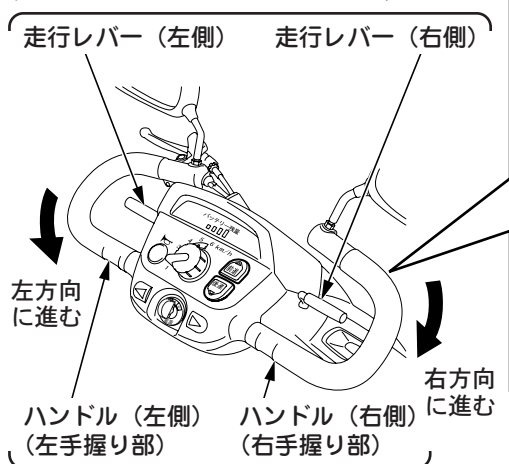


ハンドル／走行レバー

- ハンドル操作は両手で行ってください。ハンドルを左に向けるとモンパルは左方向に進み、右に向けると右方向に進みます。
- 走行レバーは、左右いずれか一方のみを操作します。他方の走行レバーには、手を触れないでください。

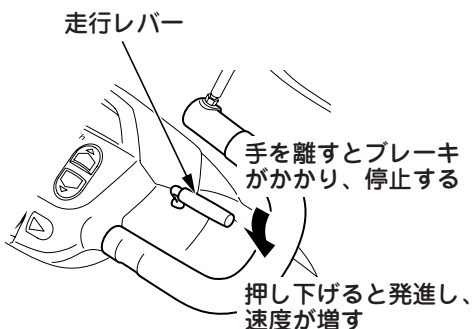
走行レバーを押し下げると発進し、速度が速くなります。レバーの押し加減で、停止状態から設定した最高速度までの範囲で走行できます。レバーから手を離すと自動的にブレーキがかかり、モンパルは停止します。

走行レバーは左右いずれか一方のみを操作する
(他方の走行レバーには手を触れない)



ハンドルは両手で操作する

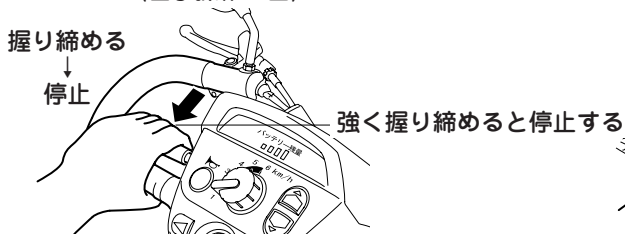
〈右側の図〉



〈走行レバーの「握り込み停止機能」〉

走行中に走行レバーを強く握り締めると、ブレーキがかかり、モンパルは停止します。(「握り込み停止機能」47頁参照)

〈左手操作の図〉



〈右手操作の図〉



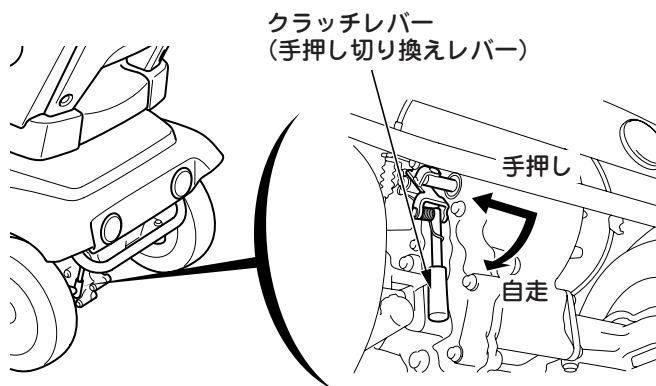
クラッチレバー（手押し切り換えレバー）

モンパルを手で押して移動するとき使用するレバーです。平坦な場所に停車して、電源スイッチを“切”の位置にしてから操作してください。

自 走：通常はこの位置にあります。走行レバーによる走行ができます。

手押し：緊急時など、モンパルを手で押して移動するときに、この位置にします。この位置では、走行レバーを操作しても走行できません。停止するときは手動ブレーキレバーを使用してください。

クラッチレバーは手を放すと“自走”の位置に戻ります。モンパルを手で押すときは、レバーから手を放さずに移動してください。



バッテリー残量計・警報表示灯

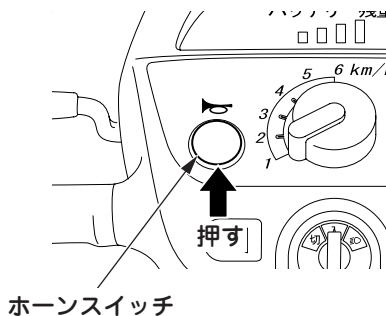
通常は、バッテリーの残量を表示します。

また、警報表示灯として、警報・保護・故障診断などの内容をランプの点灯・点滅およびブザー音で表示します。(36、44～50、60頁参照)



ホーン（警報器）スイッチ

スイッチを押すとホーン（ブザー）が鳴ります。

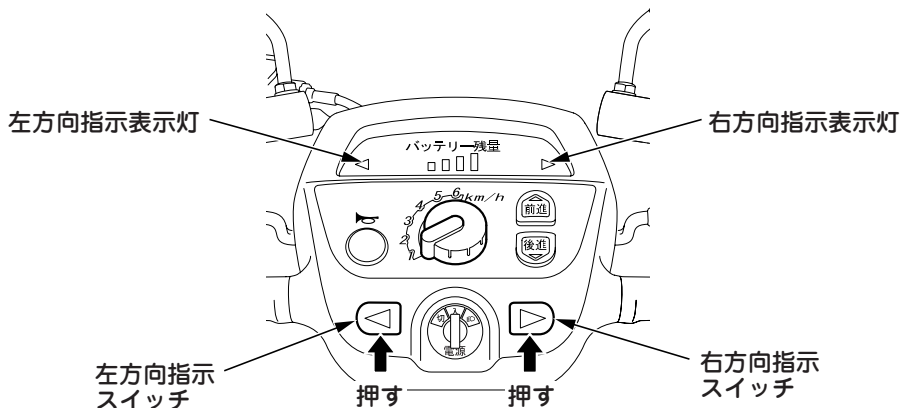


方向指示スイッチ／方向指示表示灯

左右いずれかの方向指示スイッチを押すと、押した側の方向指示器および方向指示表示灯が点滅します。同時にブザーが鳴ります。

〈解除のしかた〉

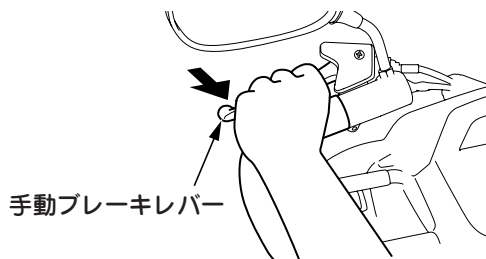
- ハンドルを操作後、直進状態に戻すと解除します。
- 点滅している方向指示スイッチをもう一度押すと、解除します。
- 押した側と反対側の方向指示スイッチを押すと、解除します。
- 方向指示器が点滅している状態で何も操作しないと、30秒後に自動的に解除します。



手動ブレーキレバー

手押し移動中にモンパルを停止するとき使用します。(51頁参照)

手動ブレーキをかける

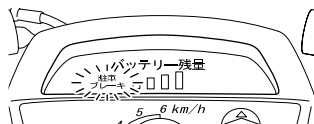
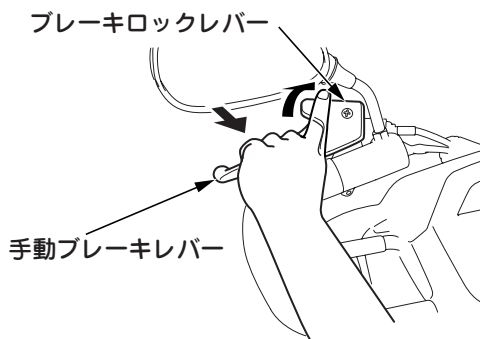


ブレーキロックレバー (駐車ブレーキ)

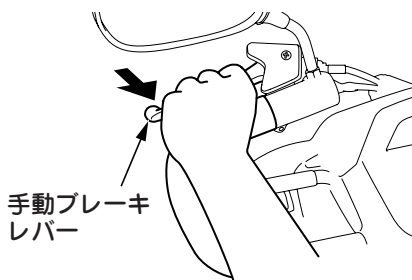
ブレーキロックレバーは駐車ブレーキをかけるときに使用します。

- 駐車ブレーキは、手動ブレーキレバーを握り、ブレーキロックレバーを下げてかけます。バッテリー残量計・警報表示灯に“**駐車ブレーキ**”が点灯します。
- 駐車ブレーキの解除は、手動ブレーキレバーをいったん握ります。

手動ブレーキをロックする



手動ブレーキのロックを解除する

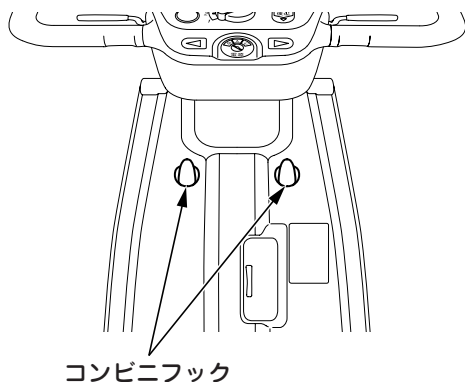


コンビニフック

ハンドル下方にコンビニフックがあります。

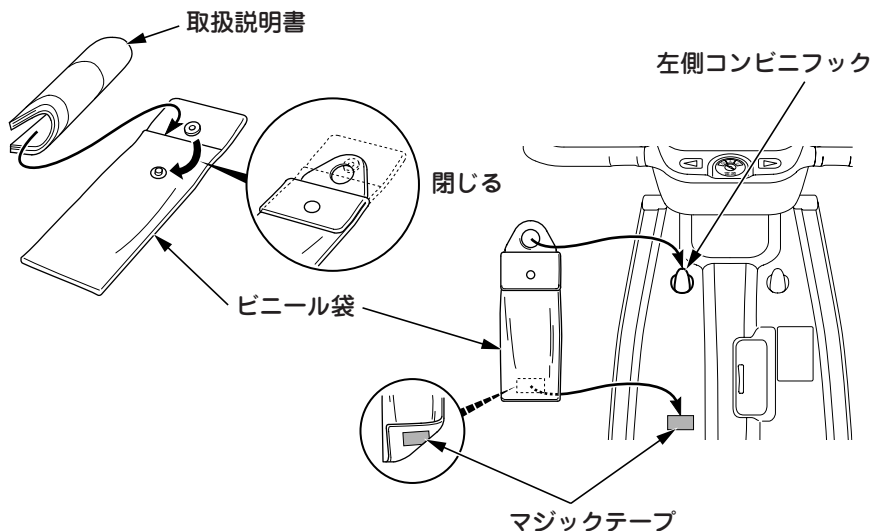
コンビニフックの最大荷物重さ：各500g

コンビニフックには、車体からはみ出したり、足に当たるような大きな荷物はかけないでください。走行やハンドル操作に支障をきたすことがあります。



取扱説明書

取扱説明書は、二つに折り曲げビニール袋に入れます。ビニール袋は入り口を閉じ、左側のコンビニフックにかけて、マジックテープで固定します。

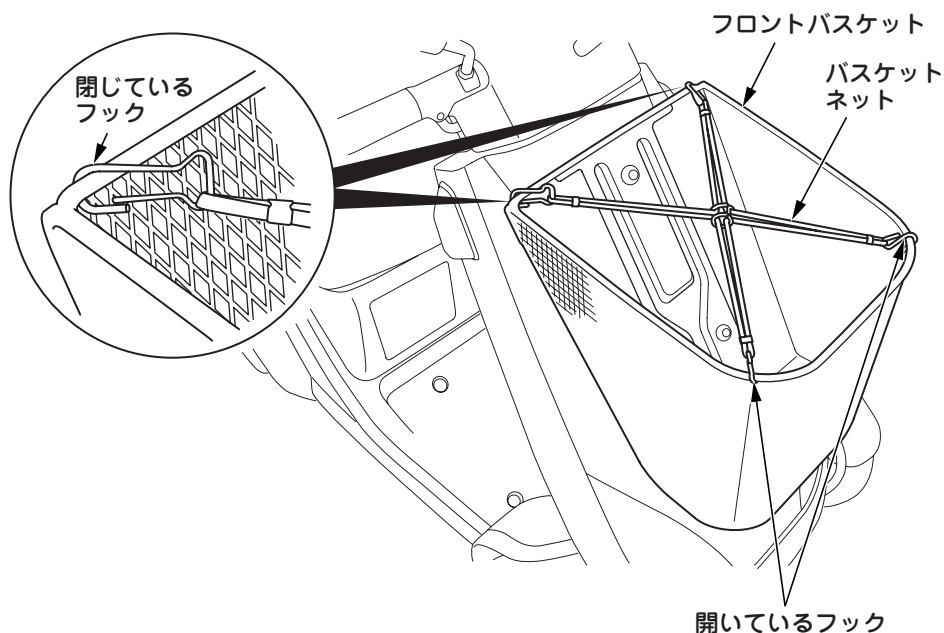


フロントバスケット／バスケットネット

- フロントバスケットの最大荷物重さ：3kg

フロントバスケット上端から、荷物がはみ出さないようにしてください。
はみ出した荷物が、走行やハンドル操作に支障をきたすことがあります。

- バスケットネットは、フックをフロントバスケット上端の太い部分に取り付けます。



回転シートレバー

シート右側の回転シートレバーを上げることで、シートを左右方向に90°まで回転できます。停止状態で駐車ブレーキをかけて、回転シートレバーを操作してください。

- 走行するときは、シートを0°（前向き）に固定します。
- 乗り降りするとき、シートを回転し45°、90°に固定できます。シートが0°（前向き）に固定されていないと、発進防止機能がはたらき走行できません。

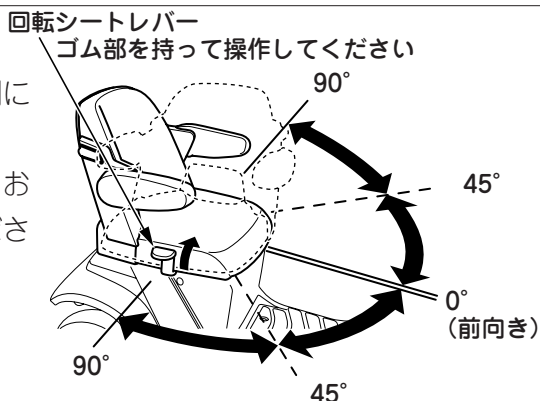


注意

走行中や手押し移動中に回転シートレバーを操作しないでください。走行中に回転シートレバーを操作すると発進防止機能がはたらき、モンパルは停止します。

回転シートレバーは、シート左側に付け替えることができます。

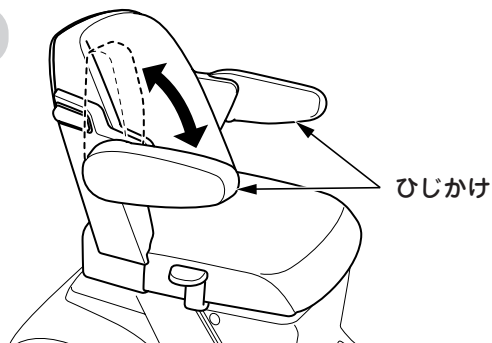
回転シートレバーの付け替えは、お買いあげ販売店にお申しつけください。



ひじかけ

乗車中は前に倒して使います。

乗り降りするときは、ひじかけをはね上げると乗り降りがしやすくなります。



取扱いのポイント

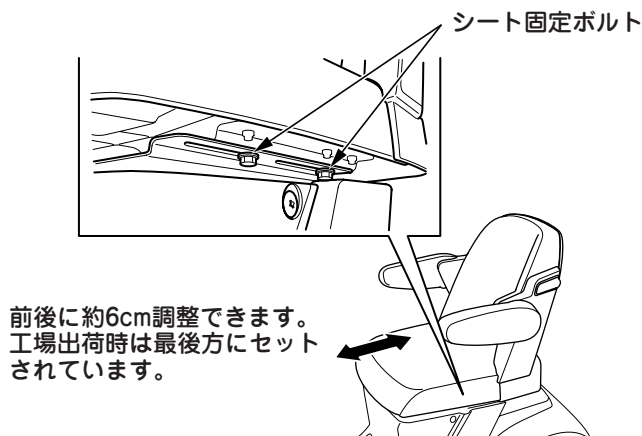
ひじかけに腰をかけたたり荷物をのせるなどの大きな力を加えないでください。ひじかけが破損するおそれがあります。

シート取付け位置の調整

シート取付け位置は、体格に合わせ、前後方向に調整できます。調整は、運転・操作のしやすい位置にしてください。シート位置の調整およびシート固定ボルトの締め付けは、お買いあげ販売店へお申しつけください。

⚠ 注意

シート固定ボルトをご自身で締め付けた場合、必ずお買いあげ販売店で、もう一度確認してください。走行中にシートが動くと、操作を誤り、事故の原因となることがあります。



走行するまえの点検（日常点検）



警告

- 点検・整備は平坦な場所で、クラッチレバーを“自走”、電源スイッチを“切”の位置にして行ってください。
- 充電中は、点検・整備を行わないでください。

いつも安心して使用するためには日常の点検・整備が必要です。忘れずに行ってください。

- 異常がみられた場合は使用しないで、お買いあげ販売店へご相談ください。

乗車するまえに

ハンドル：

- ゆるみ、ガタ
- 操作のスムーズさ
- 左右の切れ角

ハンドル：

- ブレーキロックレバーの作動

手動ブレーキレバー：

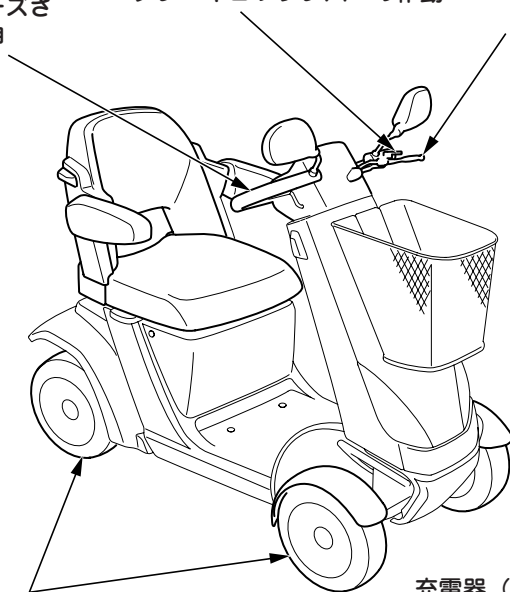
- 手押し状態での手動ブレーキの効き具合

タイヤ（四輪とも）：

- 亀裂、損傷
- 摩耗具合（37頁参照）

充電器（充電時実施）：

- コードリールの損傷
（充電コードの引き出し、収納）
- 充電後のバッテリー残量（満充電）



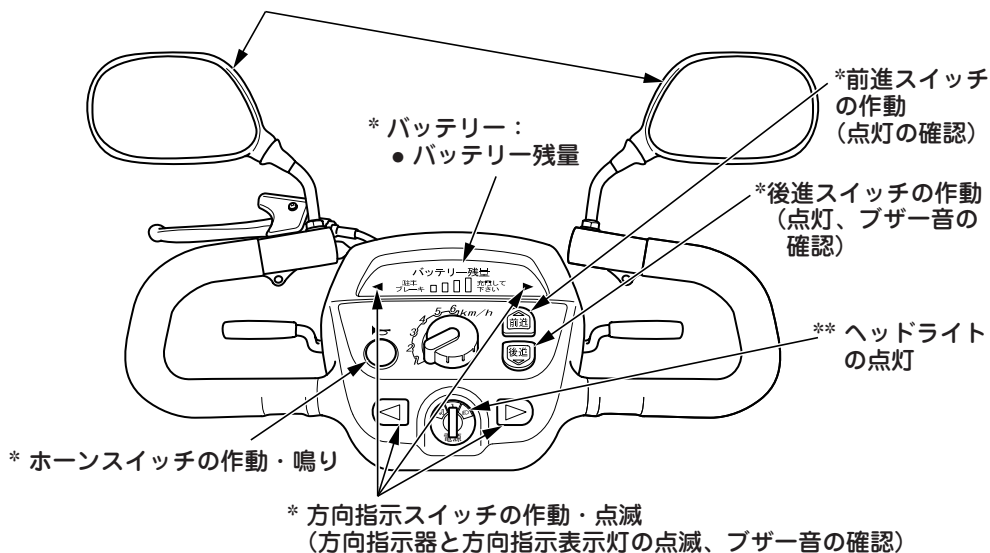
シートにすわって

ハンドル：

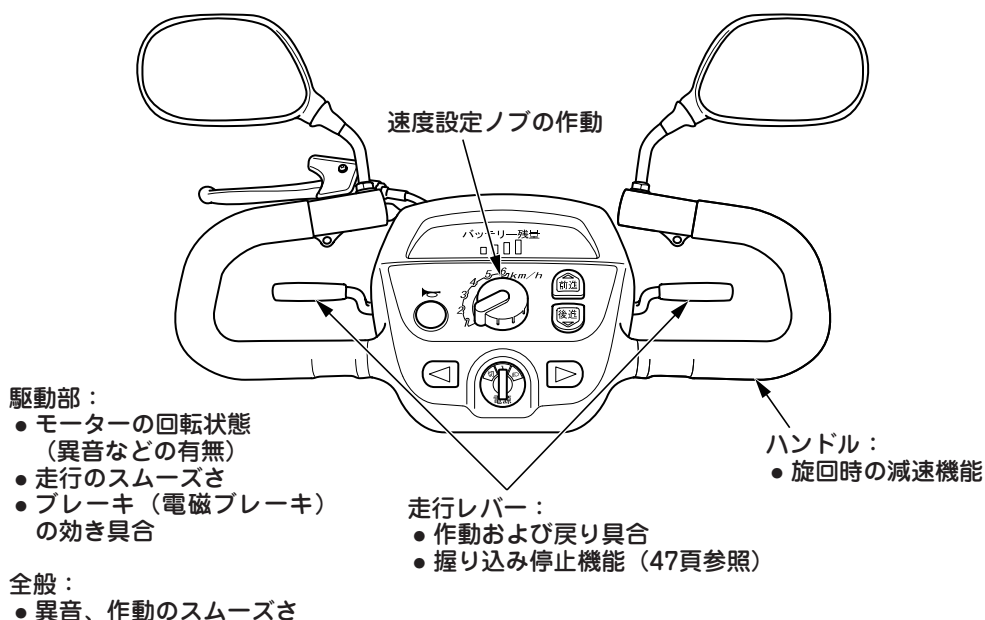
- バックミラーの調整、汚れ

*：電源スイッチを“入”の位置にして行います。

**：電源スイッチを“”の位置にして行います。



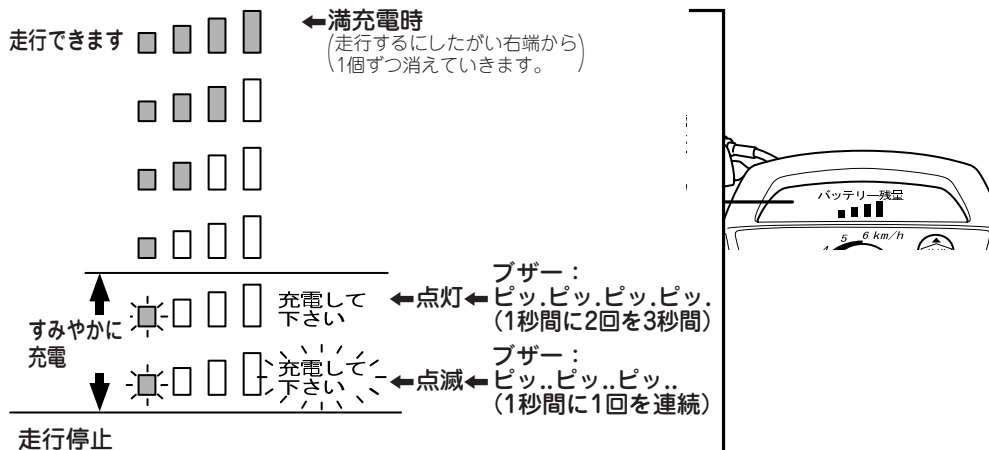
すこし走ってみて



バッテリー残量の点検

電源スイッチを“入”にして、バッテリー残量計で確認します。

バッテリー残量計の状態 (■：点灯、：点滅、□：消灯)



走行距離について

- ヘッドライト点灯時は、走行できる距離が短くなります。
- 冬期はバッテリーのはたらきが鈍るため、夏期にくらべて走行できる距離が2～3割短くなりますので注意してください。
- 走行できる距離は、バッテリーの劣化にともなって短くなります。

バッテリーの特性について

バッテリー残量を使いきってから充電する必要はありません。モンパルは、途中の状態（バッテリー残量を使いきる前）で充電しても、バッテリーの寿命に影響はありません。

一日の走行が終わりバッテリー残量計で残量が減っていたら、充電するよう心がけましょう。

タイヤの点検

● 溝が減っていたら

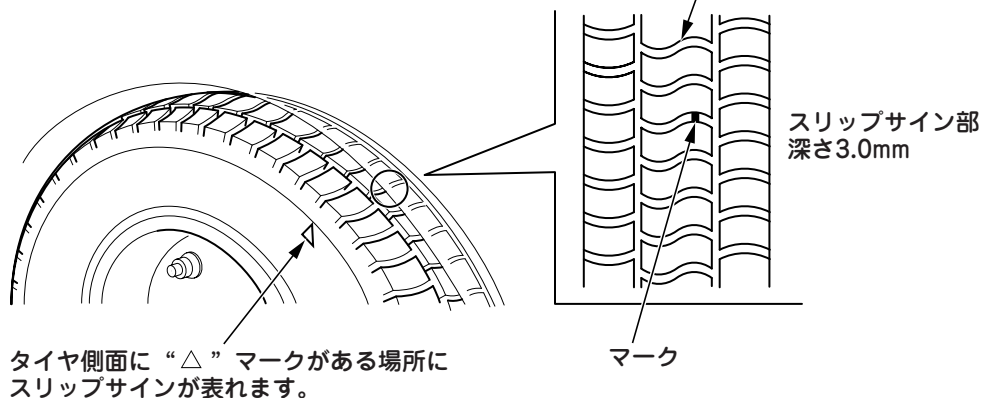
スリップサインが表れたら、早めにタイヤを交換してください。



注意

スリップサインはタイヤの接地面にあり、他の部分より溝が浅くなっています。

限界溝深さ：前輪0.5mm、後輪0.5mm



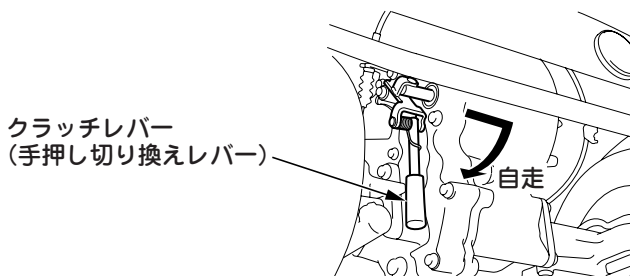
● タイヤの交換は

お買いあげ販売店にお申しつけください。

走行するにあたって

乗車するまえに確認してください

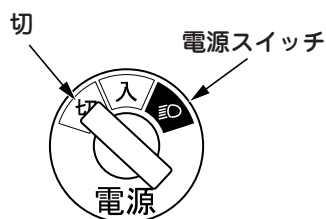
1. クラッチレバー（手押し切り換えレバー）が“自走”の位置にあることを確認してください。



2. 手動ブレーキレバーがブレーキロックレバーで固定されていることを確認してください。（29頁参照）

3. 充電コードがきちんと収納されていることを確認してください。

4. 電源スイッチが“切”の位置になっていることを確認してください。



乗車して確認してください

1. シートが前向きの状態で深く腰かけ、シートがしっかり固定されていることを確認してください。

ステップに立ったり、横すわりの状態で運転しないでください。

足元には荷物を置かないでください。

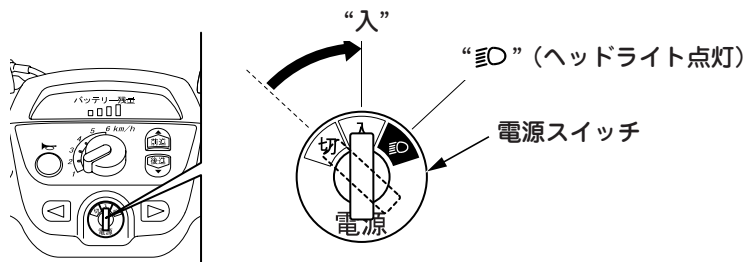
2. バックミラーで後方が正しく映ることを確認してください。必要に応じ、バックミラーの角度を調整してください。

発進するときは

⚠ 注意

急停止による転倒のおそれがありますので、走行中に電源スイッチを“切”の位置にしないでください。

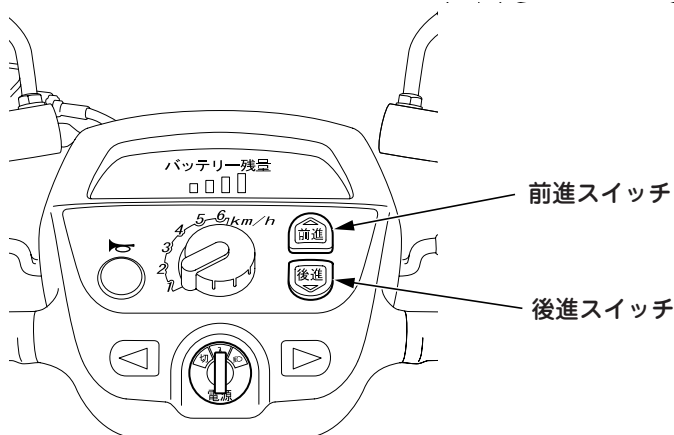
1. 走行レバーを放した状態で電源スイッチを“入”“⓪”の位置にしてください。
走行レバーを押した状態で電源スイッチを“入”“⓪”の位置にすると、誤発進防止警報（46頁参照）が鳴り、走行できません。



2. バッテリー残量計で、バッテリーの残量を確認してください。（36頁参照）
3. 前進・後進スイッチの位置をスイッチの点灯で前進・後進の確認をしてください。（キーを“入”“⓪”にしたときは、前進となります）

⚠ 注意

走行中は前進、後進切り換えスイッチを操作しないでください。操作するとモンパルは停止します。（46頁参照）



4. 速度設定ノブを任意の位置に設定してください。自身と周囲の安全を十分に確保できる速度にしてください。

以下に、スピードの目安を示します。

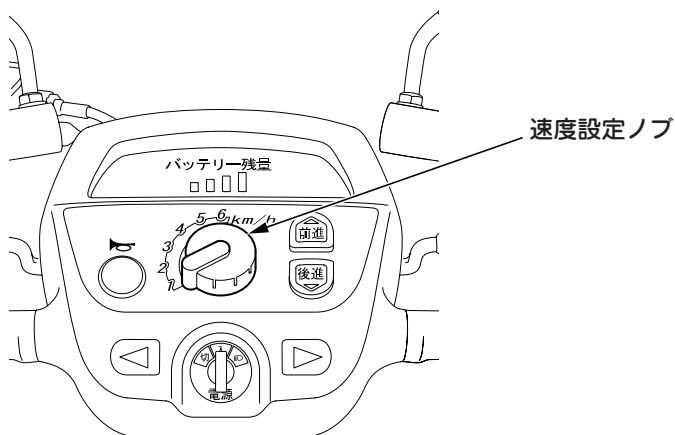
1～2km/h	ゆっくり歩く早さです 下り坂を走行するときの位置です
2～4.5km/h	ふつうに歩く早さです
4.5～6km/h	早足で歩く早さです

後進時は、ノブを2以上に動かしても最高速度は2km/hに制限されます。



注意

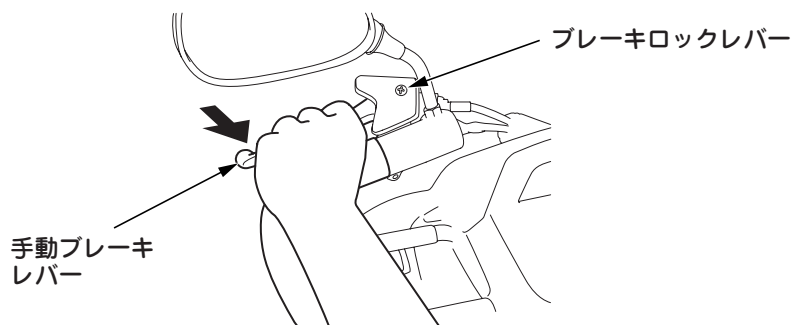
速度設定ノブは走行前に操作してください。やむをえず走行中に速度設定ノブを動かす必要のあるときは、ふらつかないように走行レバー操作側の手でハンドルをしっかり握った状態で操作してください。



5. 手動ブレーキレバーのロックを解除してください。

手動ブレーキレバーをいったん握り、ブレーキロックを解除します。

手動ブレーキレバーから手を離します。



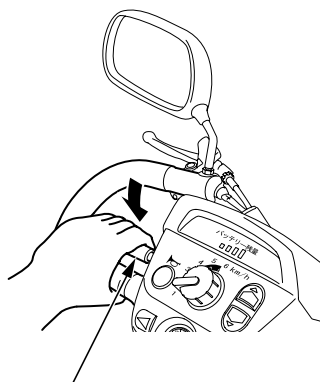
6. 両手でハンドルを握り、左右いずれか一方のみの走行レバーをゆっくり押し下げてください。

走行レバーの押し下げ加減で停止の状態から設定した速度まで車速を変えることができます。

⚠ 注意

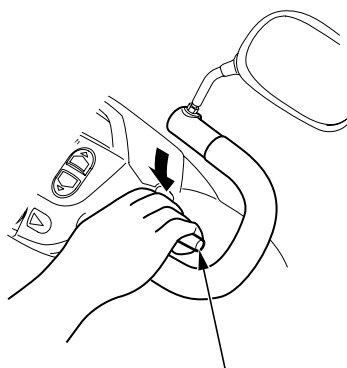
- バランスをくずし、転倒したり接触事故を起こすおそれがあるので、走行中は車体から身を乗り出したり手足をはみ出させないでください。
- 衝突・転倒のおそれがあるので、後進するときは後方の段差や障害物に十分注意してください。

〈左手操作の図〉



走行レバー（左側）

〈右手操作の図〉



走行レバー（右側）

走行レバーは左右いずれか一方のみを操作する
(他方の走行レバーには手を触れない)

停止するときは

走行レバーから手を放してください。

ブレーキがかかり、停止します。

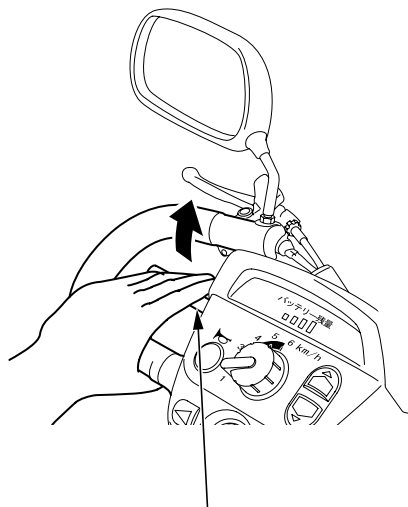
ゆっくり停止したいときは、走行レバーをゆっくりもどします。



注意

- 停止距離は走行速度や路面状態（凹凸、坂、濡れ具合など）によって異なりますので、操作は早めに行ってください。
- 駐停車は坂道を避け、平坦で安全な場所を選んでください。

〈左手操作の図〉



走行レバー（左側）

〈右手操作の図〉

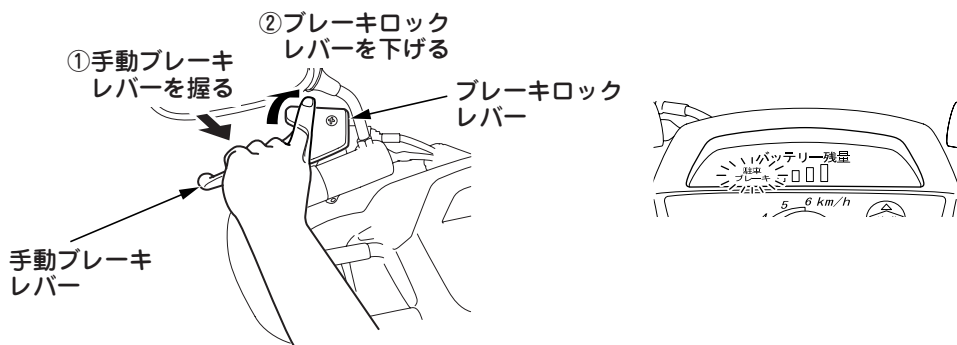


走行レバー（右側）

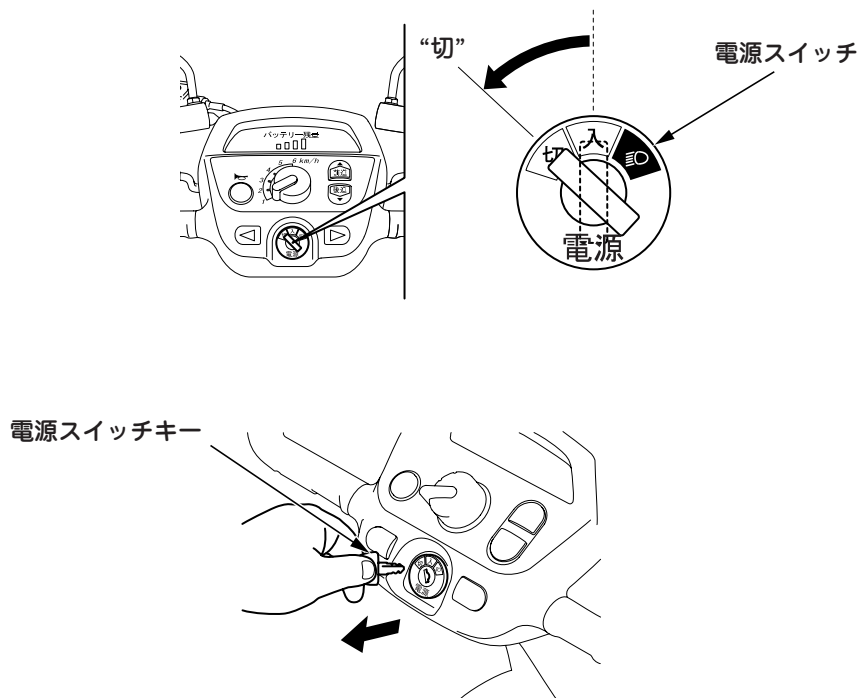
降車するときは

1. 手動ブレーキレバーをロックしてください。

レバーを握り、ブレーキロックレバーを下げて、手動ブレーキレバーをロックします。このとき“駐車ブレーキ”表示灯が点灯します。



2. 電源スイッチを“切”の位置にし、キーを抜いてください。



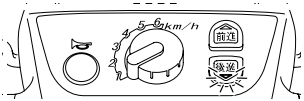
警報機能

モンパルには、バッテリーの充電不足、事故、および故障を防ぐために注意を必要とする状態で、ブザー音と警報表示灯の点灯・点滅でお知らせする警報機能がついています。警報の内容に応じて、つぎの説明を参考に、適切に対処してください。

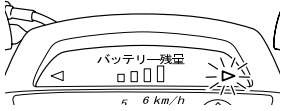
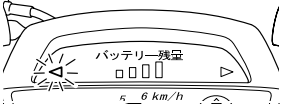
通常の操作・運転にともなう警報

異常ではありません。操作・運転している人に注意をうながします。

● 後進時の警報：

ブザーの鳴り方	警報表示灯の点灯・点滅	原因と対処方法
ピピピ...ピピピ... (3連続の断続音が 1.5秒間に1回)	バッテリー残量表示のまま 後進スイッチが点灯 	後進スイッチが選択されています。 ⇒後進するときは、後方に 十分注意して後進してく ださい。

● 方向指示スイッチ作動時の警報：

ブザーの鳴り方	警報表示灯の点灯・点滅	原因と対処方法
ピッ.. ピッ.. ピッ.. (1秒間に1回)	右折時： 右方向指示表示灯が点滅 	方向指示スイッチが作動中であることを示しています。 ⇒右・左折が終了しても、 点滅がつづく場合は、 もう一度方向指示スイ ッチを押して作動を止 めてください。
	左折時： 左方向指示表示灯が点滅 	

電源スイッチの切り忘れ警報

バッテリーの無駄な消耗を防ぐために、注意をうながします。

ブザーの鳴り方	警報表示灯の点灯・点滅	原因と対処方法
ピッ、ピッ、ピッ。 (1秒間に2回を 3分ごとに10秒間) ↓ 電源スイッチ“切” または 運転するまでつづく	バッテリー残量表示のまま	電源スイッチを“入”“”の位置にしたまま、3分間停止状態（走行レバーが放された状態）が続いています。 ⇒運転を継続しない場合は、電源スイッチを“切”にしてください。

《電源スイッチ切り忘れ状態が9分経過後》

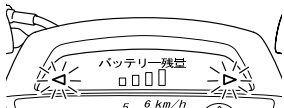
電源スイッチ 部位	入	
ヘッドライト	(消灯)	点灯 ⇒ 自動消灯
方向指示器	(消灯)	点灯 ⇒ 自動消灯
テールランプ	点滅 ⇒ 自動消灯	点滅 ⇒ 自動消灯

モンパルを走行させると、走行レバーが操作されるので自動消灯が解除されます。また、電源スイッチ操作（入↔）、方向指示スイッチ操作を行なうと、自動消灯が解除されます。

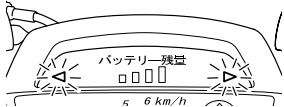
まちがった操作・運転にともなう警報

故障ではありません。まちがった操作または無理な操作による事故を防ぐための発進防止および停止機能です。

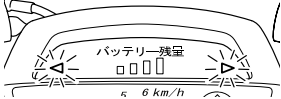
- **誤発進防止警報**：発進するときに誤った操作をしていることを知らせます。

ブザーの鳴り方	警報表示灯の点灯・点滅	原因と対処方法
ピッピッピッピッピッ (断続音が連続)	ハザード（全ての方向指示器）が点滅 全ての方向指示表示灯が点滅 	走行レバーを押し下げたままで電源スイッチを“入”“”の位置にしました。 ⇒走行レバーを一度放し、もう一度走行レバーを押し下げてください。 電源スイッチが“入”“”かつシートが前方を向いていない状態で、走行レバーを押し下げました。 ⇒走行レバーから手を放し、シートを前方に向けてください。

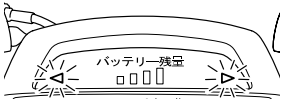
- **走行中前進・後進切り換え時停止機能**

ブザーの鳴り方	警報表示灯の点灯・点滅	原因と対処方法
ピッピッピッピッピッ (断続音が連続)	ハザード（全ての方向指示器）が点滅 全ての方向指示表示灯が点滅 	走行中に前進・後進切り換えをしました。 ⇒走行レバーを一度放し、もう一度走行レバーを押し下げてください。

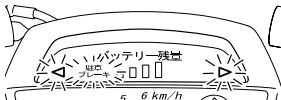
● 充電中走行防止警報

ブザーの鳴り方	警報表示灯の点灯・点滅	原因と対処方法
ピッピッピッピッピッ (断続音が連続)	ハザード（全ての方向指示器）が点滅 全ての方向指示表示灯が点滅 	充電中に電源スイッチを“入”“〇”の位置にしました。 ⇒電源スイッチを“切”の位置にもどしてください。

● 握り込み停止機能

ブザーの鳴り方	警報表示灯の点灯・点滅	原因と対処方法
ピッピッピッピッピッ (断続音が連続)	ハザード（全ての方向指示器）が点滅 全ての方向指示表示灯が点滅 	走行レバーを握りしめています。モンパルは停止します。 ⇒走行レバーを一度放し、もう一度走行レバーを押し下げてください。

● ブレーキロック停止機能

ブザーの鳴り方	警報表示灯の点灯・点滅	原因と対処方法
ピッピッピッピッピッ (断続音が連続)	“駐車ブレーキ”表示灯が点滅 ハザード（全ての方向指示器）が点滅 全ての方向指示表示灯が点滅 	走行レバーを握って、手動ブレーキレバーを操作しています。 ⇒走行レバーと手動ブレーキレバーを放し、走行する場合もう一度走行レバーを押し下げてください。 ブレーキロックがかかったまま、走行レバーを操作しています。モンパルは走行できません。 ⇒手動ブレーキレバーを握り、ブレーキロックを解除してください。

● 旋回時減速機能

4km/hを超えて走行中にハンドルを切ると、4km/hに減速されます。

走行停止につながる重大な警報

そのままの状態を続けると走行できなくなり、再発進するために時間を必要とする状態になることを知らせる大切な警報です。落ち着いて、適切に対処してください。

- **バッテリー残量警報**：バッテリーの残量が少なくなったことを知らせます。

(■：点灯、：点滅、□：消灯)

ブザーの鳴り方	警報表示灯の点灯・点滅	原因と対処方法
(無音)	■ □ □ □	バッテリーの残量が少なくなっています。
ピッ.ピッ.ピッ.ピッ. (1秒間に2回を3秒間)	 □ □ □ 充電して下さい	バッテリーの残量が不足しています。 ⇒すみやかに充電してください。
ピッ..ピッ..ピッ.. (1秒間に1回を連続)	 □ □ □  充電して下さい ハザード（全ての方向指示器）が点滅 全ての方向指示表示灯が点滅	バッテリーの残量が不足しています。 ⇒すみやかに充電してください。

- バッテリー残量警報により停止した場合でも、電源スイッチを一度“切”の位置にもどし、もう一度“入”の位置にすることによって、約1分間走行することができます。ただし、バッテリーの残量が不足していますので、何度もこの操作をくりかえすと、モンパルは走行できなくなります。
- 適切な対処を行ったにもかかわらず警報がおさまらなかったり、上記以外の警報（ブザー音や警報表示灯の表示）が表示されモンパルが動かない場合は、お買いあげ販売店にご連絡ください。警報が発生しているときの状態（警報ブザーおよび警報表示灯の点灯・点滅しているランプの箇所）を正確にお知らせください。

故障につながる重大な警報

そのままの状態を続けると故障につながったり、または再発進するために時間を必要とする状態になることを知らせる大切な警報です。落ち着いて、適切に対処してください。

ブザーの鳴り方	警報表示灯の点灯・点滅	原因と対処方法
ピッ..ピッ..ピッ.. (1秒間に1回を連続)	ハザード（全ての方向指示器）が点滅 全ての方向指示表示灯が点滅 	使用状況により警報内容が異なります ⇒使用状況に合わせ対処してください。 ↓ 下記・次頁を参照ください。

《上り坂》

- **過負荷警報**：モーターに過大な電流が流れていること、また発熱していることを知らせます。この状況で走行し続けると停止します。

原因と対処方法
● 上り坂を走行していて、モーターにかかる負担が大きく、モーターに大きな電流が流れています。 ● 長い上り坂や断続的に続く上り坂を走行した結果などで、モーターや制御ボックスが発熱しています。 ⇒上り坂を避け平地・下り坂を走行してください。警報が続く場合、安全な場所に移動し、警報がでなくなるまで停止し、モーターを止めてください。 ⇒上り坂を走行し続ける場合、安全な場所に移動し、警報がでなくなるまで停止し、モーターを止めてください。

- 過熱により停止した場合でも、電源スイッチを一度“切”の位置にもどし、もう一度“入”の位置にすることによって、約1分間走行することができます。ただし、すでに制御ボックスが発熱していますので、何度もこの操作を繰り返すと、故障するおそれがあります。

《平地》

- **モーターロック保護警報**：タイヤが回らない状態でモーターに電流が流れ、発熱していることを知らせます。この状況で走行し続けると、自動的にモーターへの通電をやめ、モーターを停止させます。

原因と対処方法
タイヤが大きな段差や深い溝などにはまり回らないのに、走行操作を行っています。 ⇒ これ以上の段差や溝は乗り越え出来ませんので回避してください。

- モーターロックにより停止した場合でも、電源スイッチを一度“切”の位置にもどし、もう一度“入”の位置にすることによって、走行可能になります。

《下り坂》

- **バッテリー過電圧保護警報**：バッテリー電圧が満充電状態を超え、過度に上昇していることを知らせます。この状況で走行し続けると停止します。

原因と対処方法
バッテリー充電完了の満充電状態で急な下り坂を走行し、過充電状態になってます。 ⇒ 速度を落とし、2km/h以下で走行してください。

- 自動的に停止した場合、電源スイッチを一度“切”の位置にもどし、もう一度“入”の位置にすることによって、走行可能になります。

手押し移動するときは

緊急時または故障などでモンパルが動かなくなったとき以外は、手押し移動しないでください。やむをえず手押し移動するときは、平坦で安全な場所で、クラッチレバー（手押し切り換えレバー）を操作してください。

⚠ 注意

クラッチレバーを“手押し”の位置にすると走行レバーを放してもブレーキは効きません。手押し移動中に停止するときは、手動ブレーキを使用してください。

1. 電源スイッチを“切”の位置にしてください。
2. 手動ブレーキレバーをいつでも操作できる状態にしてハンドルを握ります。



3. クラッチレバーを“手押し”の位置にし保持しながら、モンパルを押して移動します。

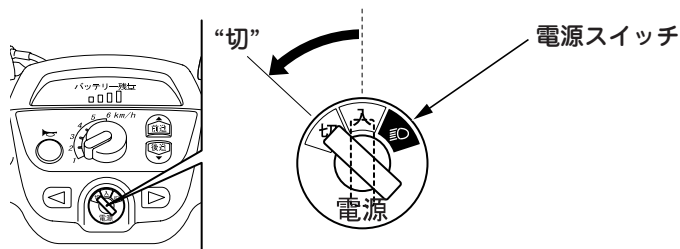


4. 移動後は、クラッチレバーから手を離します。クラッチレバーが“自走”の位置にもどっていることを確認してください。

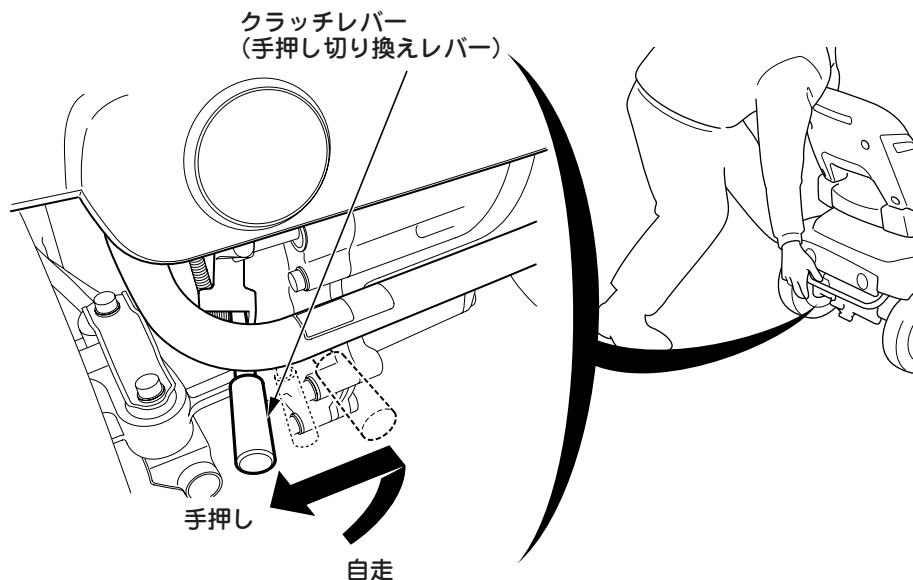
緊急事態の回避方法

走行中に、モンパルが何らかの原因で停止したまま動かなくなった場合、以下の方法で危険を回避してください。

1. 電源スイッチを“切”の位置にします。

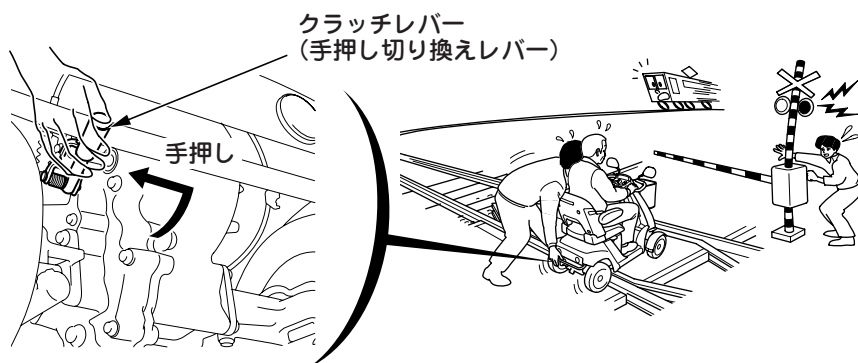


2. クラッチレバー（手押し切り換えレバー）を“手押し”の位置にし保持します。
3. 手で押してすみやかに安全な場所へ移動します。（「手押し移動するときは」51頁参照）



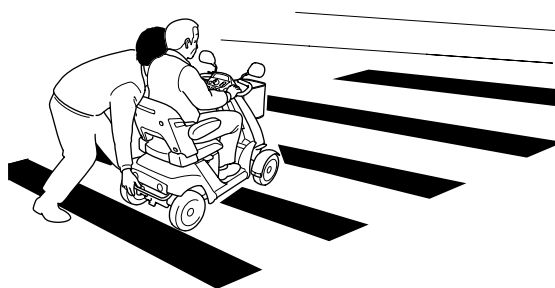
● 踏切内で動けなくなったとき

タイヤが線路のすきまに落ち込むなどして動けなくなったときは、近くの人に協力をしていただき、クラッチレバーを“手押し”の位置で保持して安全な場所へ移動してください。万一、踏切内から脱出できないような場合には、踏切に備え付けてある非常ボタンを押してください。いずれの場合でもすみやかに判断して行動してください。



● 横断歩道で動けなくなったとき

近くの人に協力をしていただき、クラッチレバーを“手押し”の位置で保持して安全な場所へ押してもらってください。



走行練習のしかた

走行練習に入るまえに、「第1部 こんなことに気をつけましょう！」（5～19頁参照）、「第2部 お乗りいただくために」（21～61頁参照）を、必ずお読みいただき、正しい取り扱い方法を十分にご理解のうえ操作してください。

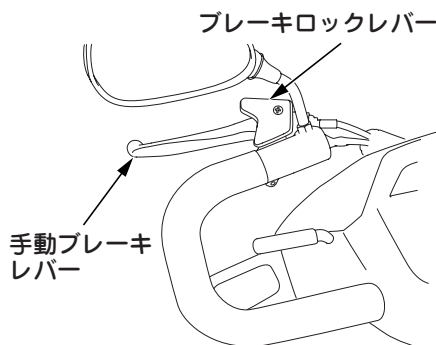
必ず、お買いあげ販売店の方に付き添ってもらってください。

● 走行する前に操作方法を理解しましょう

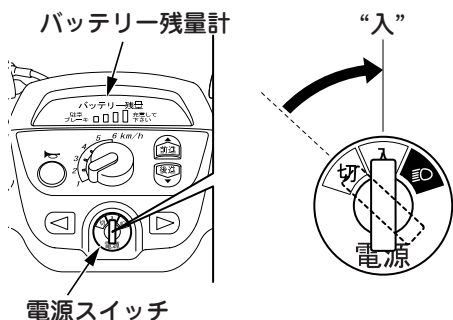
（お買いあげ販売店で説明を受けてください。）



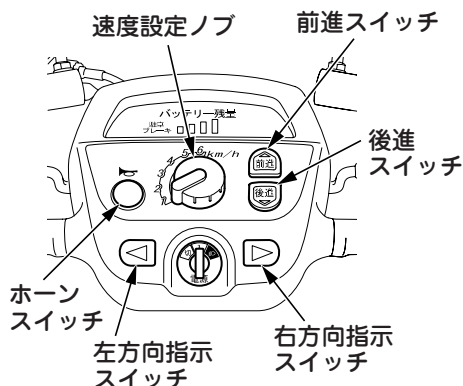
1. クラッチレバー（手押し切り換えレバー）が“自走”の位置になっていることを確認してください。



2. 手動ブレーキレバーがブレーキロックレバーで固定されていることを確認してください。（29頁参照）
3. シート取付け位置は、前後方向に調整できます。調整は運転・操作のしやすい位置にしてください。（33頁参照）
4. 後方が正しく映るように、バックミラーの角度を調整してください。
5. ハンドル周辺にある各スイッチ、レバーおよびノブの役割を確認しながら、覚えてください。



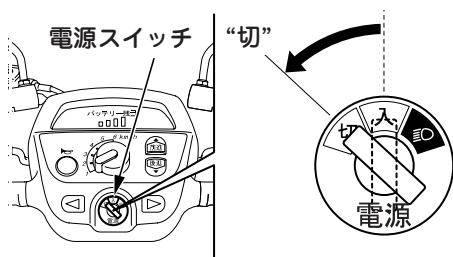
6. 電源スイッチを“入”の位置にし、バッテリー残量計を確認してください。“充電してください”と表示された場合は、すみやかに充電してください。（「充電のしかた」57頁参照）



7. 次のスイッチ類を操作して各機能を理解してください。

- 前進・後進スイッチ（25頁参照）
- 速度設定ノブ（25頁参照）
- ホーンスイッチ（28頁参照）
- 方向指示スイッチ（28頁参照）

8. 左右のハンドルを両手で握り、ハンドルを左右に向け、ハンドル操作の感じをつかんでください。（26頁参照）

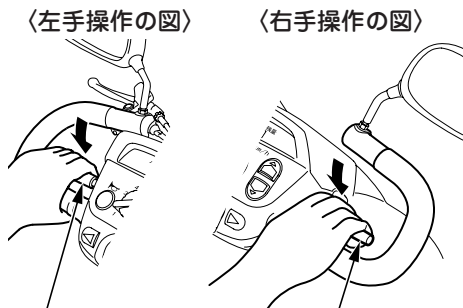


9. 停止した状態で走行レバーを操作してみましょう。

- (1) 電源スイッチを“切”の位置にします。
- (2) 左右のハンドルを両手で握ります。
- (3) 左右いずれか一方のみの走行レバーを押し下げます。（26頁参照）

電源が入っていると、この操作でモントは発進・走行します。

停止させたいときは、走行レバーから手を放してください。

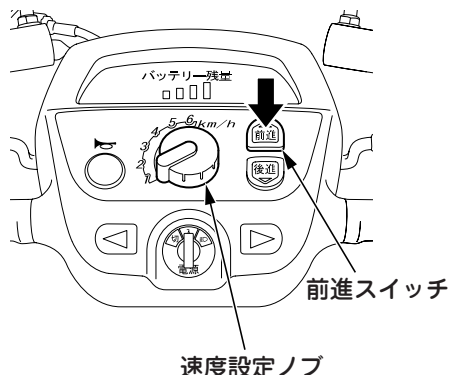


走行レバー（左側） 走行レバー（右側）

走行レバーは左右いずれか一方のみを操作する（他方の走行レバーには手を触れない）

● 実際に走行させてみましょう

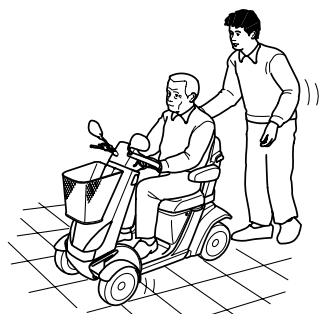
運転に慣れるまでは、十分に広くて安全な場所を選び、障害物がなく、近くに人や動物がいないことを確認して、走行練習してください。運転および各部の操作に慣れるまでは安全のため公道を走行しないでください。



1. 初めて走行するとき：
次の手順で発進させてみてください。
 - (1) 前進スイッチを押します。
 - (2) 速度設定ノブを“1km/h”に合わせます。
 - (3) 両手で左右のハンドルを握ります。
 - (4) 左右いずれか一方のみの走行レバーを押し下げます。停止させたいときは、走行レバーから手を放してください。



2. 運転操作に慣れてきたら：
 - 一旦停止し、速度設定ノブを回し、少しずつ速度を上げて練習してください。
 - 旋回やゆるい角度の傾斜地走行および低い段差の乗り越えなどを試してください。段階的に運転感覚を身につけてください。



3. 初めて道路に出るとき：
必ず介護者の方といっしょに安全を確かめながら走行してください。

充電のしかた

一日の走行が終わりバッテリー残量計で残量が減っていたら、充電するよう心がけましょう。

バッテリー残量を使いきってから充電する必要はありません。モンパルは、途中の状態（バッテリー残量を使いきる前）で充電しても、バッテリーの寿命に影響はありません。

警告

- 引火爆発のおそれがありますので、充電中バッテリーに火気を近づけないでください。充電中は、バッテリーから可燃性のガスが発生しますので、火気（ストーブ・たばこの火など）のある場所では充電しないでください。
- 感電事故を防ぐため、濡れた手でプラグを握ったり、濡れたプラグをコンセントに差し込んだりしないでください。手とプラグの水分は拭き取り、よく乾かしてください。
- 異常充電による事故を防ぐため、必ずモンパルに内蔵の充電器で充電してください。
- 車体カバー（別売）をかけたまま、充電しないでください。
- 直射日光や雨・露の影響を受けない、風通しの良い、湿気の少ない場所で充電してください。

取扱いのポイント

落雷がモンパルに悪影響をあたえる可能性がありますので、落雷時には充電を行わないでください。

雷が近づく前に充電を中止してください。遠くに稲妻が見えたり雷鳴が聞こえはじめた時点で、早期に充電プラグをコンセントから抜いてください。

充電時の異常表示

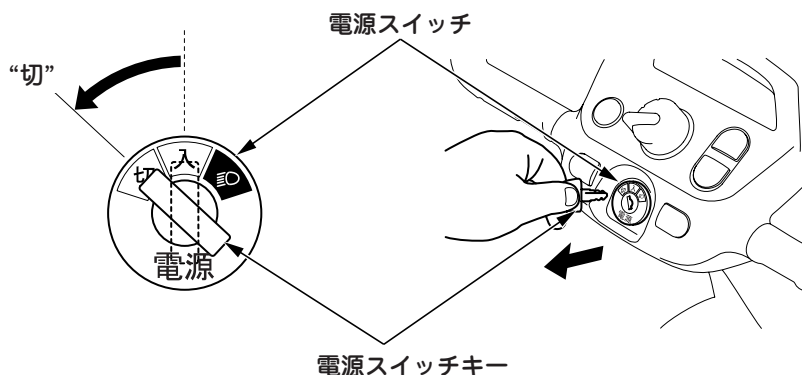
充電を開始したとき異常があると、ブザーが3秒間で6回鳴り同時に全ての方向指示器が点滅し、充電が中止されます。

異常内容をバッテリー残量計の点滅パターンで表示します。点滅パターンを77頁の表に当てはめ、対処してください。

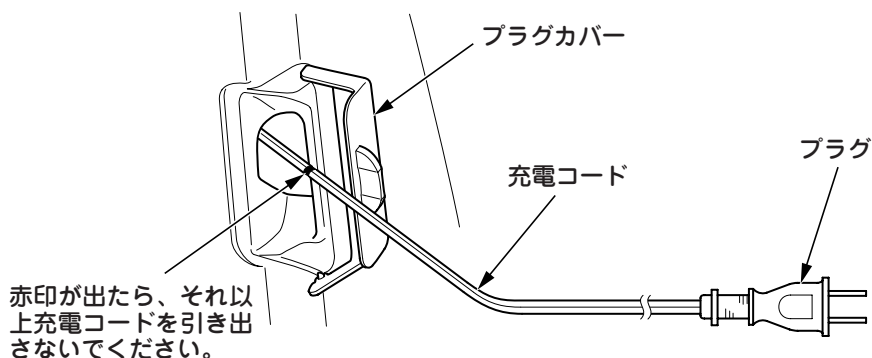
充電プラグをコンセントから抜き、故障の場合お買いあげ販売店へご相談ください。

● 充電の手順

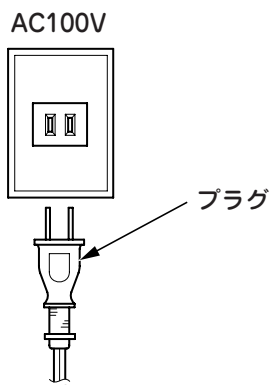
1. 電源スイッチを“切”の位置にして、キーを抜きます。



2. ハンドル下のプラグカバーをあげ、充電コード（長さ：約1.5m）を引き出します。充電コードの赤印は、引き出し限界の印です。故障の原因となりますので、赤印以上は引き出さないでください。



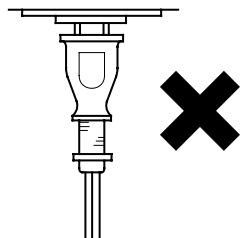
3. 充電コードのプラグを家庭用100Vコンセントに差し込み、充電を開始します。充電コードの長さが足りない場合、延長コードを使用してください。



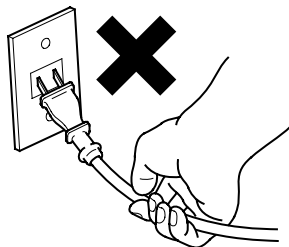
⚠ 警告

- 損傷・変形のある充電コードやプラグを使用しないでください。
感電・ショート（短絡）・発火の原因となります。
- 発熱、破損および感電のおそれがありますので、プラグの抜き差しは確実に行ってください。

根元まで差し込んでください。



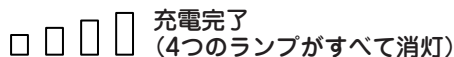
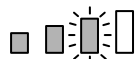
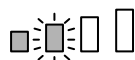
抜くときはコードを持たず、プラグを持って抜いてください。



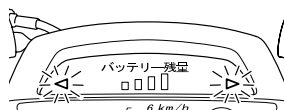
- 延長コードを使用するとき、屋外でプラグを接続する場合は、水や雨などがかからないようにご注意ください。感電のおそれがあります。
- コードに水がかかった場合は、よく拭きとってからコードリールに収納してください。

- 充電が進行するにつれて、バッテリー残量計のランプの点灯個数が多くなり、4つ全てが消灯すれば充電完了です。
- 充電を始めてから完了するまでに要する時間の目安は、左端から2個目のランプが点滅している状態から始めて約8～11時間（気温20℃のとき）です。
- 充電が完了すると、充電機能は自動的に停止します。

バッテリー残量計の状態



- 満充電状態のバッテリーを充電すると、1分以内に充電完了となり充電機能が停止する場合があります。
- 充電の途中で充電をやめてしまうと、バッテリー残量計のランプ表示は充電を中止した時点までの充電状態の表示になります。
再び充電を開始し満充電になると、4つのランプがすべて消灯します（バッテリーが満充電になった状態）。
- 充電中に電源スイッチを“入”“”の位置にすると、警報ブザーが鳴り、全ての方向指示器と方向指示表示灯が点滅し、走行不可であることを示します。
- 充電は充電完了するまで続けて実施するようにしてください。



4. 感電や漏電などの事故を防ぐために、充電が完了したらプラグをコンセントから抜いてください。

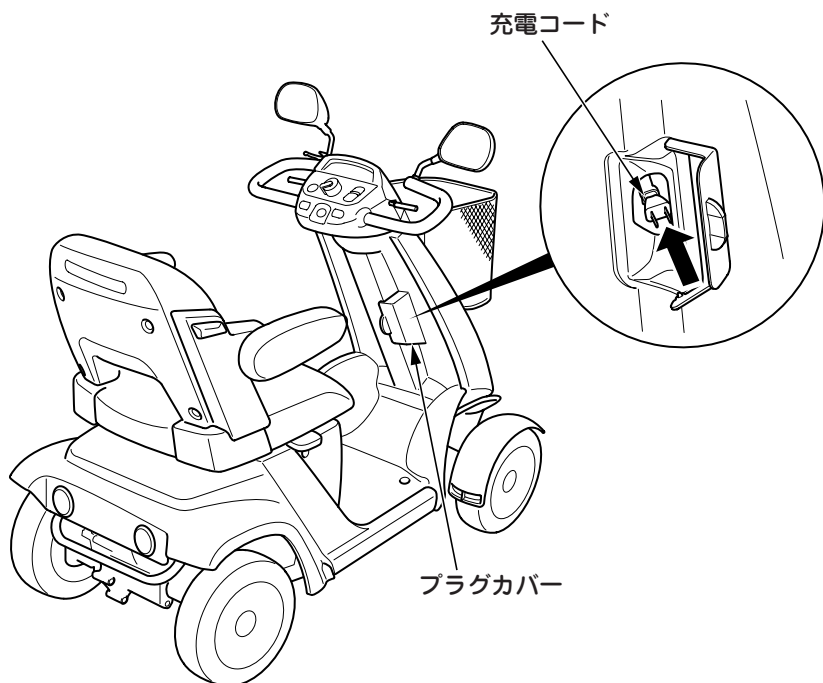
5. 充電コードを収納します。

一度充電コードを軽く引き、手を放さず、しずかに戻します。充電コードは自動的に引き込まれ収納されます。充電コードがねじれないようにし完全に収納します。

6. 充電コードが収納された状態で、プラグカバーを閉めます。

取扱いのポイント

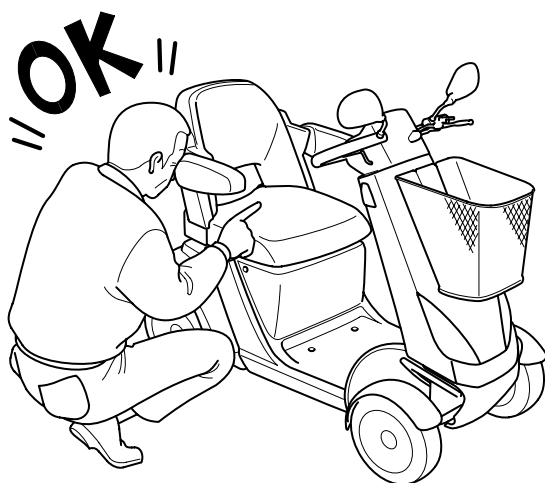
断線のおそれがありますので、充電コードは完全に収納し、プラグカバーではさまないようにしてください。



第3部

お手入れについて

定期手入れを行いましょう	64
定期点検整備の記録	68
清掃のしかた	72
長期間使用しないときの手入れ	73
故障のときは	74
運搬のしかた	78



定期手入れを行いましょ

定期点検

お買いあげいただきましたモンパルをいつまでも調子よく、長持ちさせるために定期点検を受けましょう。

- 定期点検や異常がある場合の対処には、適切な工具と整備技術を必要としますので、お買いあげ販売店にお申しつけください。
- 定期点検は、お買いあげ1か月経過したとき、および6か月毎に実施してください。
- 長期間使用しなかった場合、必ず定期点検を受けてください。
- 定期点検を受けたときは、販売店で「定期点検整備の記録」に記入してもらってください。(68～71頁)

《点検項目表》

点検箇所	点検内容	点検時期	
		日常点検	定期点検
ハンドル	ゆるみ、ガタ	○	○
	操作のスムーズさ	○	○
	左右の切れ角	○	○
	旋回時の減速機能	○	○
	ブレーキロックレバーの作動	○	○
	バックミラーの調整、汚れ	○	○
走行レバー	作動および戻り具合	○	○
	握り込み停止機能	○	○
速度設定ノブ	作動	○	○
前進・後進スイッチ	作動	○	○
ホーンスイッチ	作動・鳴り	○	○
方向指示スイッチ	作動・点滅	○	○
ヘッドライト	点灯	○	○

点検箇所	点検内容	点検時期	
		日常点検	定期点検
手動ブレーキレバー	手押し状態での手動ブレーキの効き具合	○	○
	ブレーキケーブルの損傷		○
	ブレーキの作動荷重		○
駆動部	モーターの回転状態（異音などの有無）	○	○
	走行のスムーズさ	○	○
	クラッチレバーの作動		○
	ブレーキ（電磁ブレーキ）の効き具合	○	○
	オイルもれ		○
	トランスミッションオイル		○1年毎 （必要に 応じて 交換）
バッテリー	バッテリー残量	○	
	外観の変形、損傷		○
	ターミナルのゆるみ		○
充電器	コードリールの損傷	○ (充電時実施)	○
	充電後のバッテリー残量（満充電）	○ (充電時実施)	○
タイヤ	亀裂、損傷	○	○
	摩耗具合	○	○
	前輪のトーイン量		○
全般	異音、作動のスムーズさ	○	○
	ボルト、ナットのゆるみ		○
	変形、損傷		○
	電気配線の損傷		○
	カブラのゆるみ		○

《点検箇所》

手動ブレーキレバー：

- 手押し状態での手動ブレーキの効き具合
- ブレーキケーブルの損傷
- ブレーキの作動荷重

ハンドル：

- バックミラーの調整、汚れ

ハンドル：

- ブレーキ
ロックレバー
の作動

走行レバー：

- 作動および戻り具合
- 握り込み停止機能

ハンドル：

- バックミラーの調整、汚れ

ホーンスイッチの作動・鳴り

方向指示スイッチの作動・点滅

前進スイッチの作動

後進スイッチの作動

速度設定ノブの作動

バッテリー：

- 外観の変形、損傷
- ターミナルのゆるみ

ハンドル：

- ゆるみ・ガタ
- 操作のスムーズさ
- 左右の切れ角
- 旋回時の減速機能

ヘッドライトの点灯

タイヤ：

- 亀裂、損傷（四輪とも）
- 摩耗具合（四輪とも）
- 前輪のトーイン量

充電器：

- コードリールの損傷
- 充電後のバッテリー残量（満充電）

駆動部：

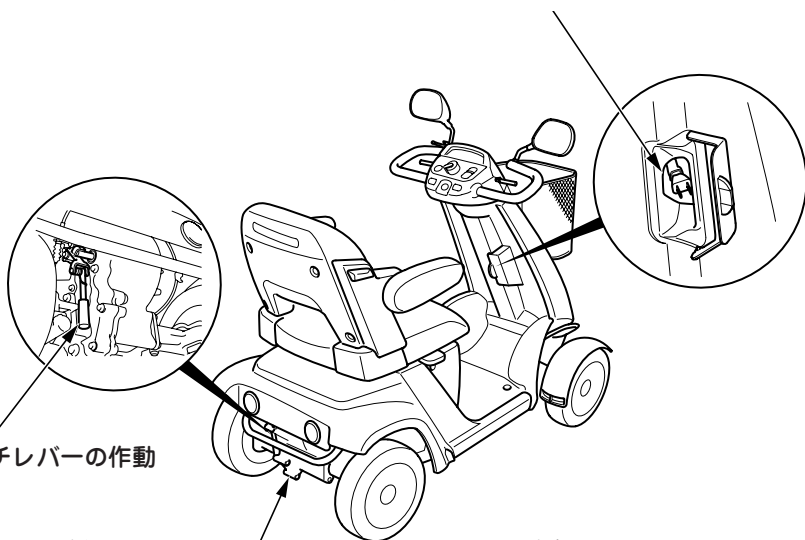
- クラッチレバーの作動

駆動部：

- モーターの回転状態（異音などの有無）
- 走行のスムーズさ
- ブレーキ（電磁ブレーキ）の効き具合
- オイルもれ
- トランスミッションオイル

全般

- 異音、作動のスムーズさ
- ボルト、ナットのゆるみ
- 変形、損傷
- 電気配線の損傷
- カブラのゆるみ



定期点検整備の記録

定期点検の結果・処置を記録し、保管してください。

✓：異常なし A：調整 △：修理 ×：交換 T：締付け C：清掃 L：給油

点検箇所	点検内容	点検時期								
		1か月	6か月	1年	1年半	2年	2年半	3年	3年半	4年
ハンドル	ゆるみ、ガタ									
	操作のスムーズさ									
	左右の切れ角									
	旋回時の減速機能									
	ブレーキロックレバーの作動									
	バックミラーの調整、汚れ									
走行レバー	作動および戻り具合									
	握り込み停止機能									
速度設定ノブ	作動									
前進・後進スイッチ	作動									
ホーンスイッチ	作動・鳴り									
方向指示スイッチ	作動・点滅									
ヘッドライト	点灯									
手動ブレーキレバー	手押し状態での手動ブレーキの効き具合									
	ブレーキケーブルの損傷									
	ブレーキの作動荷重									
駆動部	モーターの回転状態（異音などの有無）									
	走行のスムーズさ									
	クラッチレバーの作動									
	ブレーキ（電磁ブレーキ）の効き具合									
	オイルもれ									
	トランスミッションオイル		－		－		－		－	
バッテリー	外観の変形、損傷									
	ターミナルのゆるみ									

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
充電器	コードリールの損傷									
	充電後のバッテリー残量（満充電）									
タイヤ	亀裂、損傷									
	摩耗具合									
	前輪のトーイン量									
全般	異音、作動のスムーズさ									
	ボルト、ナットのゆるみ									
	変形、損傷									
	電気配線の損傷									
	カブラのゆるみ									

点検実施の年月日および実施者

点検時期		実施の年月日	実施者の氏名／修理記録
①	1か月	年 月 日	
②	6か月	年 月 日	
③	1年	年 月 日	
④	1年半	年 月 日	
⑤	2年	年 月 日	
⑥	2年半	年 月 日	
⑦	3年	年 月 日	
⑧	3年半	年 月 日	
⑨	4年	年 月 日	

《コピーしてお使いください》

✓：異常なし A：調整 △：修理 ×：交換 T：締付け C：清掃 L：給油

点検箇所	点検内容	点検時期：6か月毎（ご記入ください）							
		年数 月数	年 6か月	年 －	年 6か月	年 －	年 6か月	年 －	年 6か月
ハンドル	ゆるみ、ガタ								
	操作のスムーズさ								
	左右の切れ角								
	旋回時の減速機能								
	ブレーキロックレバーの作動								
	バックミラーの調整、汚れ								
走行レバー	作動および戻り具合								
	握り込み停止機能								
速度設定ノブ	作動								
前進・後進スイッチ	作動								
ホーンスイッチ	作動・鳴り								
方向指示スイッチ	作動・点滅								
ヘッドライト	点灯								
手動ブレーキレバー	手押し状態での手動ブレーキの効き具合								
	ブレーキケーブルの損傷								
	ブレーキの作動荷重								
駆動部	モーターの回転状態（異音などの有無）								
	走行のスムーズさ								
	クラッチレバーの作動								
	ブレーキ（電磁ブレーキ）の効き具合								
	オイルもれ								
	トランスミッションオイル	－		－		－		－	
バッテリー	外観の変形、損傷								
	ターミナルのゆるみ								

1 2 3 4 5 6 7 8

		1	2	3	4	5	6	7	8
充電器	コードリールの損傷								
	充電後のバッテリー残量（満充電）								
タイヤ	亀裂、損傷								
	摩耗具合								
	前輪のトーイン量								
全般	異音、作動のスムーズさ								
	ボルト、ナットのゆるみ								
	変形、損傷								
	電気配線の損傷								
	カブラのゆるみ								

点検実施の年月日および実施者

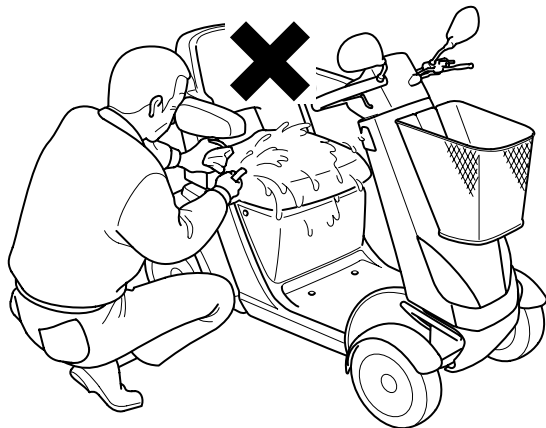
点検時期	実施の年月日	実施者の氏名／修理記録
1	年 月 日	
2	年 月 日	
3	年 月 日	
4	年 月 日	
5	年 月 日	
6	年 月 日	
7	年 月 日	
8	年 月 日	

清掃のしかた

取扱いのポイント

- モンパルの汚れを水や中性洗剤をしみ込ませた布などで拭き取る場合は、電源スイッチキーを“切”の位置にして行ってください。充電中は避けてください。
- 水洗いはしないでください。故障の原因になるおそれがあります。
- ガソリン、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。変形・損傷の原因となるおそれがあります。
- 樹脂製のためワックスは使用しないでください。

やわらかい布を水ですすぎ、よく絞ってから車体の汚れを拭き取ってください。汚れがひどい場合には、布に中性洗剤をしみ込ませて拭き取り、その後、水気を絞ったやわらかい布で拭いてください。



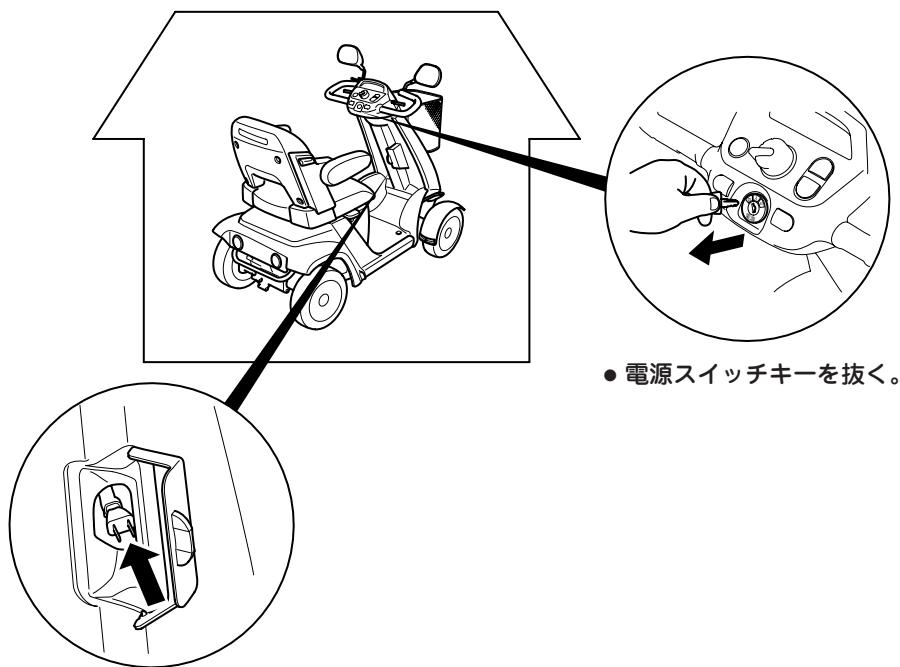
長期間使用しないときの手入れ

運転を終り長時間運転しない場合、または長期間格納する場合は次の手順に従ってください。

取扱いのポイント

- 平坦で、雨・露・直射日光を受けない場所に保管してください。
- ゴミ、ホコリの少ない場所に保管してください。
- バッテリーは自然放電しますので保管まえに充電し、その後6か月毎に補充充電を行ってください。

1. 電源スイッチキーを抜いてください。
2. 充電コードのプラグをコンセントから抜いてください。



- 充電コードのプラグをコンセントから抜く。
- 充電コードを完全に収納する。(61頁参照)
- プラグカバーを閉じる。

※コードを収納するときは、ねじれた状態で巻き取らないよう注意してください。途中でコードが引っかかり、全てが収納できなくなります。

故障のときは

モンパルの調子が悪いときは下表にしたがい点検し、処置をしてください。

- 処置をとっても異常がある場合は、むやみに分解しないで、はやめにお買いあげ販売店へご相談ください。

症 状	点検・処置のしかた	参照頁
走行しない	電源スイッチが“切”の位置になっていませんか？ → “入” “  ”の位置にしてください。	39
	バッテリーの残量が不足していませんか？ → バッテリーを充電してください。	36、57
	走行レバーを握っていませんか？ → 走行レバーから手を放し、もう一度、走行レバーを押し下げてください。	47
スピードが出ない	速度設定ノブが低速の位置になっていませんか？ → 速度設定ノブの速度を上げてください。	40
	バッテリー残量が不足していませんか？ → バッテリーを充電してください。	36、57
	※急な上り坂では、スピードが遅くなります。 異常ではありません。	—
ブザーが鳴る	電源を切り忘れていませんか？ → 電源スイッチを“切”の位置にしてください。	45
	急な上り坂を走行していませんか？ → ゆるやかな坂道または平坦路にもどってください。	49
	急坂（過負荷）警報がはたらいていませんか？ → 安全な場所に移動し、警報が出なくなるまで停止します。	49
	後進スイッチが点灯していませんか？ 異常ではありません。	44

症 状	点検・処置のしかた	参照頁
ブザーが鳴り 停止する	段差や溝で動かない状態になっていませんか？ →段差や溝が大きすぎて乗り越えることができません。回避してください。電源スイッチを“切”にし、再度“入”にすることで走行可能になります。	50
	バッテリー残量が不足していませんか？ →バッテリーを充電してください。	36、57
	走行レバーを握っていませんか？ →走行レバーを放せばブザーが止まり、再び走行できます。	47
充電コードの プラグをコン セントに差し 込むと警報が 鳴る 充電中に警報 が鳴る	電源スイッチが“入”“  ”の位置になっていませんか？ →電源スイッチを“切”の位置にもどしてください。	47
ヘッドライト が点灯しない	バルブが切れていませんか？ →お買いあげ販売店にご相談ください。	—
方向指示器が 点灯しない	バルブが切れていませんか？ →お買いあげ販売店にご相談ください。	—

故障診断機能

故障診断機能は、“警報”と“故障”をバッテリー残量計の点滅パターンで表示します。

電源スイッチが“入”“〇”の位置、または“切”で充電状態のとき、異常があると表示されます。

警報：過酷な使い方により、負荷が増している状態です。

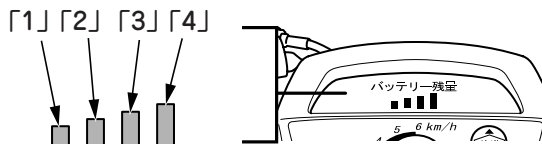
モンパルを休ませることにより回復します。

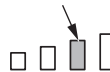
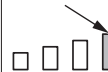
故障：修理が必要です。適切な工具と整備技術が必要なため、お買いあげ販売店にご相談ください。

故障診断機能が働くと、ブザーが3秒間で6回鳴り同時に全ての方向指示器が点滅し、モンパルは走行できなくなり、充電時は充電できなくなります。

“警報”“故障”はバッテリー残量計の点滅回数で表示します。バッテリー残量表示のうち下図の「2」「3」「4」が「2」→「3」→「4」の順に点滅し、これを繰り返します。この「2」から始まる点滅パターンを次頁の表に当てはめ、対処方法を確認してください。

バッテリー残量計の残量表示



バッテリー残量計の点滅回数 〔点滅順： 「2」→「3」→「4」 繰返し〕				対処方法
残量表示 「2」 	残量表示 「3」 	残量表示 「4」 		
警報	1回	0回	4回	警報の状態を改善するため、モニターを休ませてください。 ●電源スイッチを“切”の位置にしてください。 ●充電時は充電プラグをコンセントから抜いてください。 ↓ 過負荷・過積載などの原因が考えられます。原因を取り除いてください。 ↓ 警報が度重なる場合、他の原因が考えられます。お買い上げ販売店で点検を受けてください。 ●電源スイッチを“切”の位置にしてください。 ●充電時は充電プラグをコンセントから抜いてください。
	2回	2回	0回	
	2回	3回	0回	
	2回	3回	1回	
	2回	3回	2回	
	2回	3回	3回	
	2回	3回	4回	
	2回	4回	1回	
	2回	4回	2回	
	2回	4回	3回	
	2回	4回	4回	
故障	上記以外の点滅パターン			修理をお買いあげ販売店にご相談ください。 ●電源スイッチを“切”の位置にしてください。 ●充電時は充電プラグをコンセントから抜いてください。

運搬のしかた

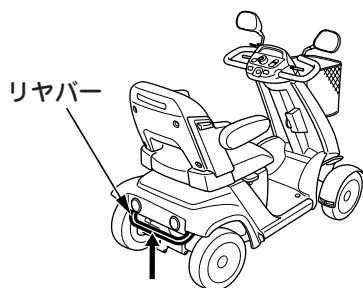
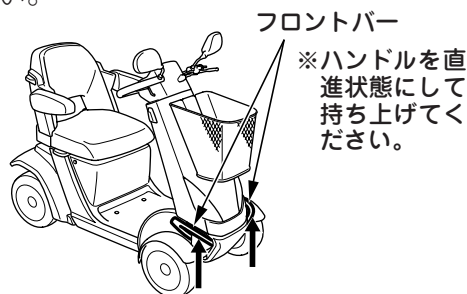
落差9cm以上の段差や、幅12cm以上の溝は、走行状態で移動はできません。
この場合、モンパルを持ち上げるかアユミ板などを使用してください。

取扱いのポイント

- モンパルを手で持ち上げる場合は、指定箇所以外は持たないでください。
また、2人以上で作業してください。
- トラック荷台への積み下ろしなど大きな段差を乗り越える場合は、アユミ板、
パワーゲートなどを使用してください。モンパルを荷台から直接降ろしたり、
ロープなどによる不安定な吊下げ作業は絶対に行わないでください。

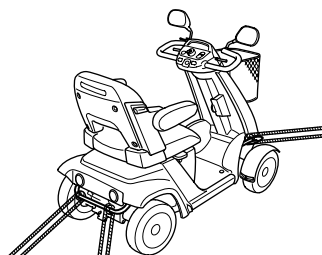
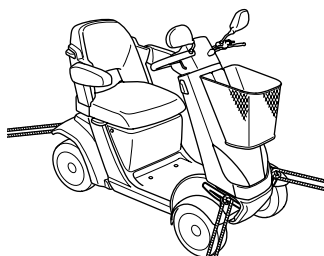
〈持ち上げ〉

乗車状態では持ち上げないでください。



〈固定〉

固定はフロントバー、リヤバーで行い、ロープなどが他の部分に触れないようにしてください。



第 4 部

データ

主要諸元	80
保証の概要	83
同梱部品の取付けかた	84
索引	85

主要諸元

諸 元	名 称		モンバル ML200
	型 式		UDAJ
	車いす形式		自操用ハンドル形
	寸 法（全長×全幅×全高）		1,190×595×1,045mm
	質量〔重量〕（バッテリーを含む）		115kg
	車輪	前 輪	80/80-6
		後 輪	80/80-6
	駆動方式		後2輪直接駆動方式（デフ付き）
	制動方式		回生制動・電磁ブレーキ・手動ブレーキ
	操舵方式		ループハンドルによる前輪操舵
	制御方式		走行レバーによる無段階制御
	バッテリー（5時間率容量）		制御弁式鉛電池 (12V-35Ah) × 2個
	バッテリー形式		LC-XC1238H
	駆動モーター（30分定格出力）		DCブラシレスモーター（24V 430W）× 1個
	ヘッドライト		24V/7.2W×2個
	方向指示器		24V/3W×4個
	充 電 器		定電圧／定電流方式（温度補正付き）
	シート寸法	幅	415mm
		奥行き	395mm
		背もたれ高さ	390mm
	シート構造		可動式ひじかけ付き

走行性能	走行速度	前 進	1～6 km/h（無段階調整式）
		後 進	1～2 km/h（無段階調整式）
	最高速度 ※1	前 進	6 km/h
		後 進	2 km/h
	実用登坂角度		10°
	段差乗越え高さ		90 mm
	溝乗越え幅		120 mm
	最小回転半径		1,430 mm
	連続走行距離 ※2		約25 km
	使用者最大体重		100 kg（積載物を含む）

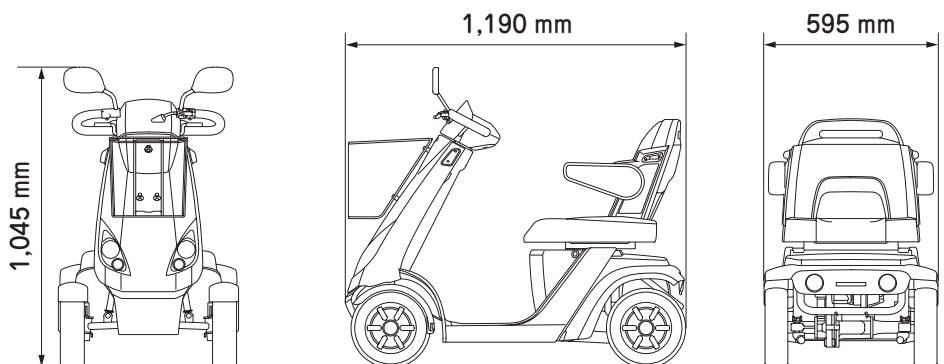
※1：最高速度は、JIS-T9203-11.1.1の試験法による。

※2：連続走行距離は、JIS-T9203-11.1.13の試験法による。

（新品バッテリー満充電、乗員体重100 kg、最高速度で平坦路を走行、バッテリー放電100%までの数値です。）

この製品は、JIS-T9203「電動車いす」の基準に基づいて設計されており、国家公安委員会の型式認定を受けております。型式認定番号：交 K08-5（型式認定マークは機体前部左側のフレームに貼付）

外観図



静的安定性試験結果（JIS-T9203-11.1.6の試験法による）

項 目	車輪ロックなしの場合	車輪ロックありの場合
後方安定性	－	20°
前方安定性	－	20°
側方安定性	－	15°
備考：最大角度は、規定値を上限とする。		

動的安定性試験結果（JIS-T9203-11.1.16の試験法による）

評価項目	座位の状態	
	標準状態	最も不安定な状態
斜面上での後方に対する動的安定性（最大傾斜角度）	10°	10°
斜面上での前方に対する動的安定性（最大傾斜角度）	10°	10°
斜面上での側方に対する動的安定性（最大傾斜角度）	10°	10°
円旋回での側方に対する動的安定性（最小半径）	2.6 m	2.6 m
急激な円旋回での側方に対する動的安定性（適合性）	適合	適合
前向き段差の乗り上げ時における後方の動的安定性（最大段差高）	50 mm	50 mm
後向き段差降り時における後方の動的安定性（最大段差高）	50 mm	50 mm
前向き段差乗り上げ時における前方の動的安定性（最大段差高）	50 mm	50 mm
前向き段差降り時における前方の動的安定性（最大段差高）	50 mm	50 mm
斜め段差降り時における側方の動的安定性（最大段差高）	50 mm	50 mm
試験条件：転倒防止装置なし、搭乗者体重は100kg		

保証の概要

お買い上げいただきましたモンパルML200に万一不具合がおきましたときは、別紙の保証書にしたがって保証いたします。

《保証の概要》

■保証の内容

お買い上げいただきましたモンパルML200を構成する純正部品に材料または製造上の不具合が起きた場合これを無料修理いたします。(以下：保証修理) 保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。また、取り外した不具合部品はHonda所有となります事をご了承ください。

■保証期間

●購入した日から1年間です。但し、レンタル・リース用、専門業者の使用等を含む業務用の場合は、6ヶ月の保証期間となります。

■保証できない事項

●次に示すものに起因すると判定される故障は保証修理をいたしません。

- Hondaが指定する定期点検整備を実施しなかった場合
- 取扱説明書の指示に反する使用
- Hondaが認めていない改造
- 保守整備の不備または間違い
- 純正部品および指定する油脂類以外の使用
- Hondaが示す仕様の限度を越える使用
- ご使用者の不注意による故障

●次に示すものは保証修理いたしません。

- 時の経過による変化で発生した不具合（塗装面、メッキ面などの自然退色）
- 一般に品質、機能上影響のない感覚的現象（音、振動、オイルのにじみなど）
- 台風、水害などの天災による不具合
- レース等による酷使による不具合
- 薬品、塩害などに起因する不具合

●次に示すものの費用は負担いたしません。

- お買い上げいただいた販売店またはHonda指定サービス店以外での修理
- 正常使用することで消耗する部品、パッキン、ガスケット、ケーブル類、ヒューズ、バルブ球及びこれらに類するもの。グリース、その他の潤滑油等これらに類するもの。タイヤ等ゴム類、ブレーキシュー及びこれらに類する消耗品。
- 点検、清掃、調整および定期点検整備
- 本機を使用できなかった事による不便さ及び損失など（休業損失、商業損失など）
- 保証書に示す条件以外の費用補償など

■別扱い保証

バッテリーは、モンパルML200の保証書とは別にそれぞれの部品メーカーが定めた保証基準に従って保証されます。

お買い上げいただいた販売店、もしくはHonda指定サービス店にご相談ください。

■保証の適用

保証は日本国内で使用される場合のみに適用いたします。

海外へ持ち出した場合は、その時点で保証が打ち切りになります。

お買い上げ年月日、販売店名、製品名、機体番号が特定できない場合、保証の適用が受けられない場合があります。

This Warranty is applied **only** to the case that it is used in Japan.

■保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、お買い上げ販売店またはHonda指定サービス店へお持ちいただき保証書を提示し、保証修理をお申しつけ下さい。

同梱部品の取付けかた

同梱部品は、お買いあげ販売店で取付けるものです。次の手順と要領で同梱部品を取付けてください。

なお、説明に使用しているイラストが一部実車と異なる場合がありますが、取付け関係は同じですのでご了承ください。

同梱部品

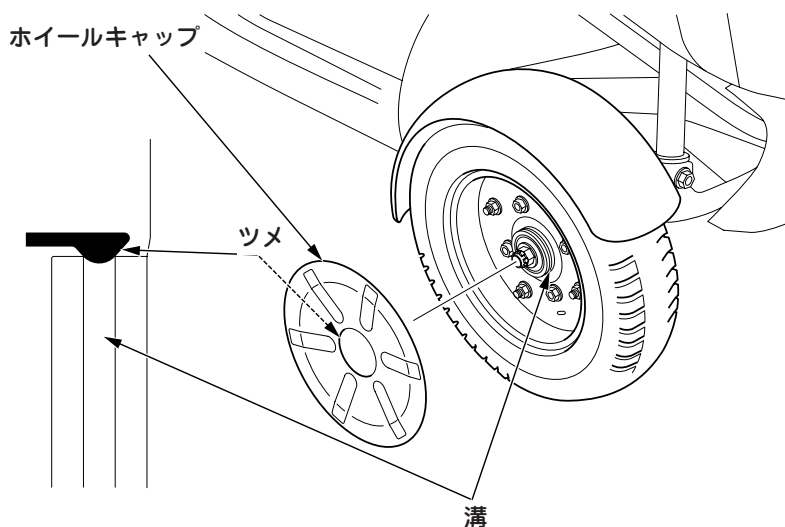
同梱部品を確認してください。

ホイールキャップ	4
バスケットネット	1

ホイールキャップ

1. ホイールキャップのツメ（4か所）が溝に確実に入るように押し込みます。
2. ホイールキャップを回して、確実に取付けられていることを確認してください。

他のホイールキャップも同様に取付けます。



バスケットネット

バスケットネットは、フックをフロントバスケット上端の太い部分に取付けます。（31頁参照）

索引

【あ行】	安全ラベル	6
	安全にお使いいただくためにこれだけはぜひ守りましょう	8
	運搬のしかた	78
【か行】	回転シートレバー	32
	各部の名称と取り扱いをおぼえましょう	22
	緊急事態の回避方法	52
	クラッチレバー（手押し切り換えレバー）	27
	警報機能	44
	過負荷警報	49
	後進時の警報	44
	誤発進防止警報	46
	充電中走行防止警報	47
	旋回時減速機能	47
	走行中前進・後進切り換え時停止機能	46
	電源スイッチの切り忘れ警報	45
	握り込み停止機能	47
	バッテリー過電圧保護警報	50
	バッテリー残量警報	48
	ブレーキロック停止機能	47
	方向指示スイッチ作動時の警報	44
	モーターロック保護警報	50
	降車するときは	43
	故障診断機能	76
	故障のときは	74
	コンビニフック	30
【さ行】	シート取付け位置の調整	33
	シートにすわって	35
	充電のしかた	57
	手動ブレーキレバー	29
	主要諸元	80
	乗車して確認してください	38
	乗車するまえに	34
	乗車するまえに確認してください	38
	すこし走ってみて	35
	清掃のしかた	72
	前進・後進スイッチ	25
	走行するにあたって	38
	走行するまえの点検（日常点検）	34
	走行レバー	26
	走行練習のしかた	54
	速度設定ノブ	25

【た行】	タイヤの点検.....	37
	長期間使用しない時の手入れ.....	73
	定期手入れをしましょう.....	64
	定期点検.....	64
	定期点検整備の記録.....	68
	停止するときは.....	42
	手押し移動するときは.....	51
	電源スイッチ.....	24
	同梱部品の取付けかた.....	84
	取扱説明書.....	30
【は行】	バスケットネット.....	31
	発進するときは.....	39
	バッテリー残量計・警報表示灯.....	27
	バッテリー残量の点検.....	36
	ハンドル.....	26
	ひじかけ.....	32
	ブレーキロックレバー（駐車ブレーキ）.....	29
	フロントバスケット.....	31
	方向指示スイッチ／方向指示表示灯.....	28
	保証の概要.....	83
	ホーン（警音器）スイッチ.....	28

× 毛

× 毛

Honda汎用製品についてのお問い合わせ・ご相談は、まず、
Honda販売店にお気軽にご相談ください。

販売店

TEL

お問い合わせ、ご相談は、全国共通フリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル 0120-112010

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00
〒351-0188 埼玉県和光市本町 8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

Honda汎用製品に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

- ① 製品名、タイプ名
- ② ご購入年月日
- ③ 販売店名